

令和2年度第1回 横浜市自転車等施策 検討協議会



令和2年7月8日



議事 1 各施策の実施状況について

議事 2 指標の設定及び達成状況について

その他



横浜市自転車活用推進計画

【2019年度～2028年度】



1

各施策の実施状況 について



- ・ 幼児・児童向け交通安全教育の実施状況
- ・ 自転車交通安全啓発ツールの作成・活用
- ・ 思いやり SHARE THE ROAD 運動の推進
- ・ 自転車保険の加入促進



- ・ 重点エリアでの自転車通行空間の整備推進（戸塚駅周辺、鶴見駅周辺）
- ・ 都心臨海部における自転車利用環境づくりの推進
- ・ 整備済の通行空間に関する情報提供の充実



- ・ 駐輪場の附置義務制度の運用状況
- ・ 公共空間を活用した駐輪場整備
- ・ 市営駐輪場の持続的な維持管理を実現するしくみの検討



- ・ 健康づくりと自転車に関する情報提供（サイクリストアンケート結果）
- ・ サイクルスポーツ環境の充実
- ・ コミュニティサイクル事業の推進

令和元年度予算 〈自転車活用施策の推進〉

施策項目		令和元年度予算	主な事業内容
まもる	自転車の交通ルール等の周知・啓発	2335万円	<ul style="list-style-type: none">・ルールを学べる教育の場・機会の充実・自転車とクルマの互いの思いやりを啓発する運動の実施・自転車保険加入促進に向けた周知・啓発
はしる	自転車通行空間の整備	6400万円	<ul style="list-style-type: none">・市道新羽荏田線(都筑区)など2路線の整備・都心臨海部自転車ネットワークの検討
とめる	市営自転車駐車場の管理運営等	23億1408万円	<ul style="list-style-type: none">・市営自転車駐車場の管理運営・市営自転車駐車場の維持・補修・自転車等放置防止対策
いかす	自転車施策の推進	745万円	<ul style="list-style-type: none">・自転車施策推進に係る調査・自転車ポータルサイトの運営
計		24億887万円	

■方針

■具体の取組

方針 1

**交通ルールを
学べる環境を
つくる**

(1) 切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

(2) 教育・啓発・指導ができる体制づくり

方針 2

**安全・安心に
自転車を利用
できる環境を
つくる**

(1) 自転車とクルマが互いに配慮できる意識啓発

(2) 自転車保険の加入促進

(3) 安全に乗るための点検・整備方法の周知啓発

まもる 切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

- 自転車の交通ルールの周知・啓発は、各世代に応じて切れ目なく必要

市の取組 世代別教育の充実

(1) 幼児・児童向け交通安全教育

- ・ 幼児交通安全教室（幼稚園・保育園児）
自転車利用時のヘルメット着用等
- ・ はまっ子交通あんぜん教室（小学生）
自転車の乗り方指導



- ・ 幼児期からの自転車教育について
引続き検討



まもる

切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

(2) 自転車交通安全啓発ツールの作成・活用

- ・みんなのサイクルルールブックよこはま、啓発チラシを交通安全教室の教材として活用するほか、区役所等で配布。



乳幼児保護者向けの新たな取組み

特に守ってほしいルールを厳選したチラシの作成及び園への送付



- ・保護者向けルール啓発チラシ
- ・説明用原稿、Q A集

送付

説明資料があると、保護者に説明しやすい!



先生

市内 幼稚園・保育所等 1,713園

まもる 切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

(2) 自転車交通安全啓発ツールの作成・活用

外国人来訪者、外国人市民向けの新たな取り組み

- ・「自転車ルールのかほん」リーフレットを作成。一般向けに加え、英語・中国語(簡体)・ハングル・やさしい日本語版を本市WEBサイトに掲載
- ・保険加入から日常点検、駐輪ルールまで、分かりやすく伝える

保険加入、どうすればいいの?
 Q. どんな保険に入ればいいのか? (自転車事故や火災保険の付帯で付帯してあるものがあります)
 A. 自転車利用中に、他人を死傷させてしまった場合に、その損害を補償できる保険です。(個人賠償責任保険、団体保険、共済、TSマーク付帯保険、クレジットカードの付帯保険など。)
 Q. どうやって入るの?
 A. 保険会社や代理店で購入します。
 Q. 子どもが乗る場合も、入らなくてはいけないの?
 A. はい、必ず入りましょう。

知ろう、守ろう! 自転車ルール
 自転車はクルマのなかま!
 自転車は原則、車道の左側を通行します。
 逆走は違反!
 歩行者が最優先!
 歩行者が通行する場合は次の通りです。
 歩行者が通行する場合は次の通りです。
 歩行者が通行する場合は次の通りです。
 歩行者が通行する場合は次の通りです。

Even if only for a short time, park in a bicycle parking lot (a place to park bicycles). Don't park the bicycle along the road or in public squares!

BAKERY

Even if it is only for a short time, it is in the way of people walking and shops. Also cars are not able to get through.

The City of Yokohama has established the area around the station where everyone can pass through as a "bicycle-free area" (where bicycles cannot be parked). Bicycles and motorcycles that are parked in prohibited areas will be moved to a storage location.

If you will have to pay money to get the bicycle returned.

The City's bicycle parking lot locations can be found on the City's website.

Let's have fun safely using bicycles.

In Yokohama City, a "Yokohama City Bicycle Use Promotion Plan" was created. The plan promotes policies so that everyone can enjoy safely using bicycles.

Be Considerate and SHARE THE ROAD Campaign. We are working to ensure that bicycles can safely use the road.

Yokohama City Bicycle Use Information Site. Information about cycle events can be found on this site.

Issued by: Yokohama City Bureau of Road and Highway, Traffic Safety, and Bicycle Policy Division. 2223.1. TEL: 045-671-2223 FAX: 045-643-6868

Let's Have Fun Safely Riding Around Yokohama!

Bicycle Rule Basics

English

英語版

Before getting on your bicycle, get insurance!

According to the laws of Kanagawa Prefecture, you must have insurance that will cover the costs when you injure someone while riding your bicycle.

There was an accident where a bicycle rider had to pay the injured person a large sum of money totaling 12.5 million yen.

Be sure to get insurance.

让我们安心开心地在横浜骑自行车!

自行车行驶规则

中文简体

中国語版

骑自行车前，先加入保险!

根据神奈川县的规定，当您骑自行车时，必须加入能够支付医疗费用及其他费用的保险。

曾经发生过一起事故，一名骑自行车者不得不向受伤者支付一笔高达1250万日元的巨额赔偿。

请务必加入保险。

안전하게 즐겁게 요코하미를 달리자!

자전거 기본 규칙

한국

ハングル版

자전거를 타기 전에... 우선은 보험에 가입할 것!

신奈川県의 법규에 따라, 자전거를 타기 전에 부상을 입었을 때 재정을 지원할 수 있는 보험에 가입해야 합니다.

일대 화재가 9521만 원에 달하는 큰 재산권을 잃을 때까는 사고로 일어났습니다.

꼭 보험에 가입하십시오.

安全に楽しく横浜を走ろう!

自転車ルールのかほん

やさしい日本語版

やさしい日本語版

自転車に乗る前に保険に入ろう!

神奈川県では、自転車に乗るときに、他人を怪傷させたときに、お金の支払いが必要になる場合があります。神奈川県では、1億2500万円の賠償責任を負った事例があります。

必ず保険に加入してください。

- 自転車とクルマ それぞれの運転者に向けた啓発

市の取組

「思いやり SHARE THE ROAD 運動」の推進

- ・ 世界トライアスロン横浜大会等のイベントでのチラシや反射材等による啓発
- ・ タクシー事業者との連携による啓発
市内 2,885台のタクシー車両への啓発シール貼付
- ・ バス事業者との連携による啓発
バス車体へのマグネットステッカー貼付



自転車利用者からは「車道走行が怖い」という意見一方で、
ドライバーからは「自転車の運転が怖い」という意見

ドライバーへの啓発と並行した
自転車利用者へのルール啓発 が相互理解のカギ

まもる 自転車保険の加入促進

- 「神奈川県自転車等の安全で適正な利用の促進に関する条例」
令和元年10月1日から **自転車保険の加入義務化**

市の取組 県と連携し、様々な機会での広報を展開

- (1) 広報紙・町内会を通じた啓発
- (2) 公共交通機関や区役所等でのポスター掲示等
- (3) キャンペーン等での啓発
- (4) 日々の交通安全教室を通じての啓発
- (5) 自転車保険への加入状況調査



加入率向上に向け継続的な取組み

加入状況調査結果の活用

まもる 自転車保険の加入促進

加入状況調査〈結果〉

加入率（自転車利用者に占める率）

44.6 % 義務化前（R元.8月）

■ 加入した理由

事故による高額賠償などの
リスクを避けたいから

61.8%

■ 加入しない理由

保険料を負担したくないから

27.1%

安全運転を心がけているから

22.9%

調査結果を踏まえた令和2年度の啓発方針

■ 加入動機につながる項目を強調

- ・ 高額賠償のリスク
- ・ 安価で加入できること
- ・ 誰もが事故に遭う可能性

■ 世代別に効果的な媒体を活用

- ・ 10～20歳代：SNS、ネットニュース
- ・ 30～50歳代：ネットニュース
- ・ 60歳代：ネットニュース、チラシ、ポスター、広報紙
- ・ 70歳代以上：チラシ、ポスター、広報誌等

まもる 自転車保険の加入促進

加入動機となる項目の強調

今後、交通安全教室やイベント等の機会も活用し、啓発を進める。

世代別に効果的な広報

- ① 若年層：SNS、ネットなどデジタル媒体
 - ・本市ホームページ
 - ・Twitter（随時）
- ② 中高年層：チラシ・ポスター・広報誌など紙媒体
 - ・広報よこはま（5月）、タウンニュース（5月）
- ③ 全世代共通：新聞、テレビ、ラジオなど
 - ・ラジオ放送（5月）、交通広告（7月）
 - ・転入者向け区役所窓口配布（5月から）

令和2年度も
加入状況調査を実施予定

次年度の啓発に反映

■方針

■具体の取組

方針
1

地域の自転車
ネットワークを
つくる

(1) 重点エリアでの自転車通行空間の整備推進

(2) 都心臨海部における自転車利用環境づくりの推進

方針
2

地域をつなぐ
広域ネットワーク
をつくる

広域的な自転車ネットワークの形成

方針
3

安全で快適な
自転車通行環境を
つくる

自転車通行環境の快適性向上

■ 戸塚駅周辺自転車通行空間整備実行計画(R2年3月策定)

- 戸塚駅を中心に1.0kmを対象として通学路の指定や自転車・歩行者の交通量、主要施設へのアクセス等を考慮して図のA~H路線（総延長約7.7km）を選定。
- 整備路線及び整備形態等について地元や交通管理者と協議し、実行計画を策定。

■ 車道混在(矢羽根型路面表示)のイメージ



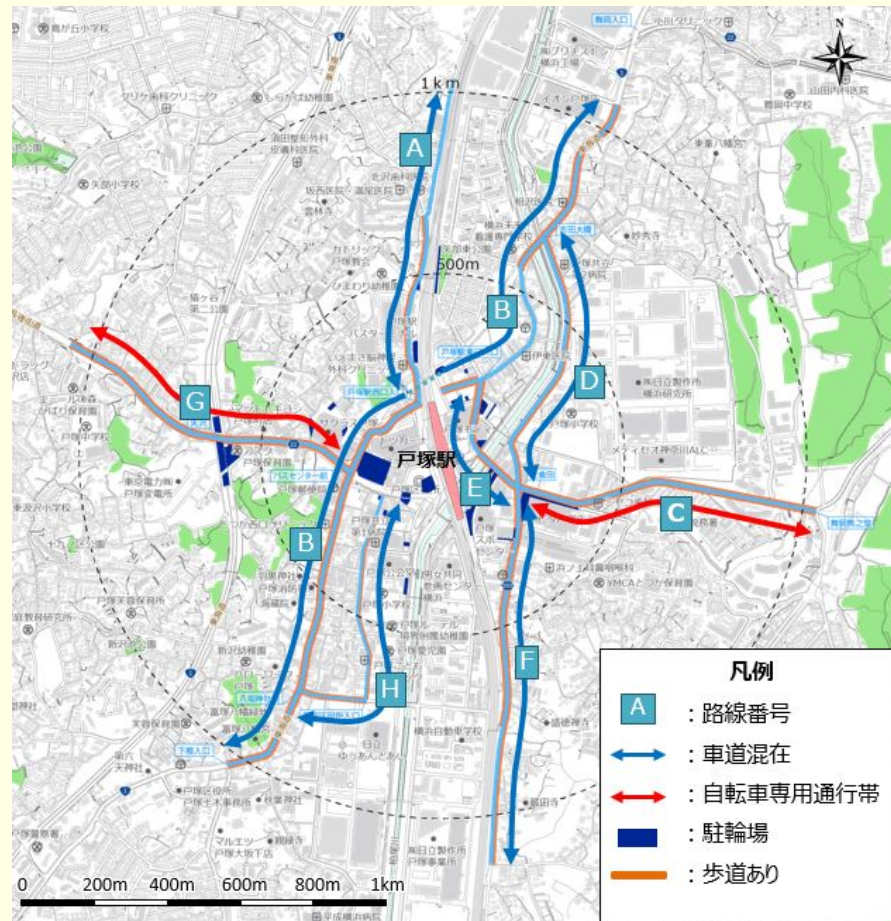
事例：鶴見駅前郵便局付近

■ 自転車専用通行帯のイメージ



事例：環状4号（泉区）

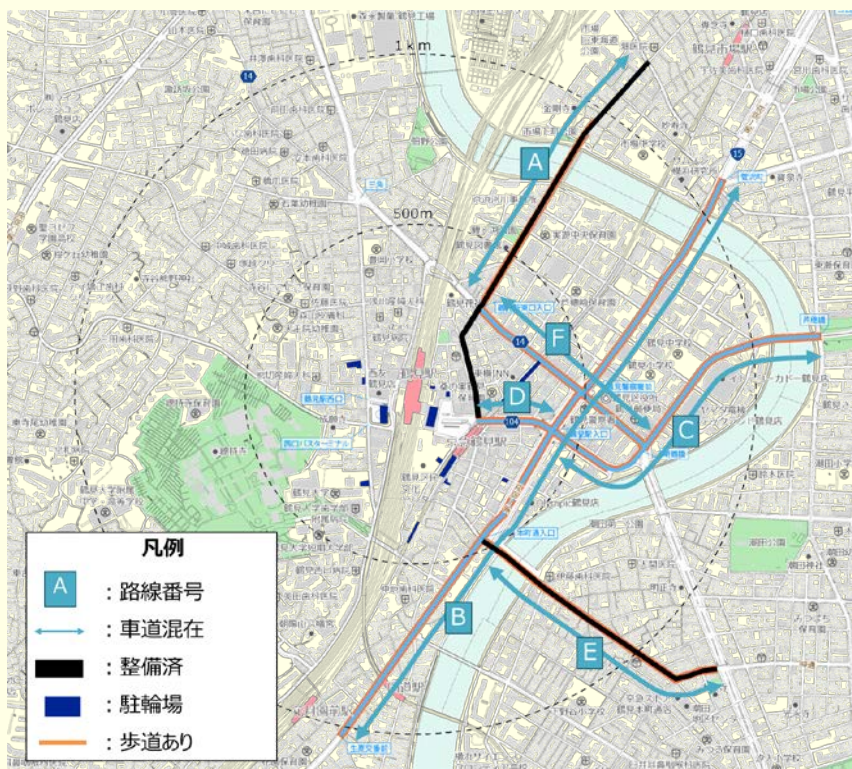
路線	整備形態
A	車道混在
B	車道混在
C	自転車専用通行帯 (一部 車道混在)
D	車道混在
E	車道混在
F	車道混在
G	自転車専用通行帯 (一部 車道混在)
H	車道混在



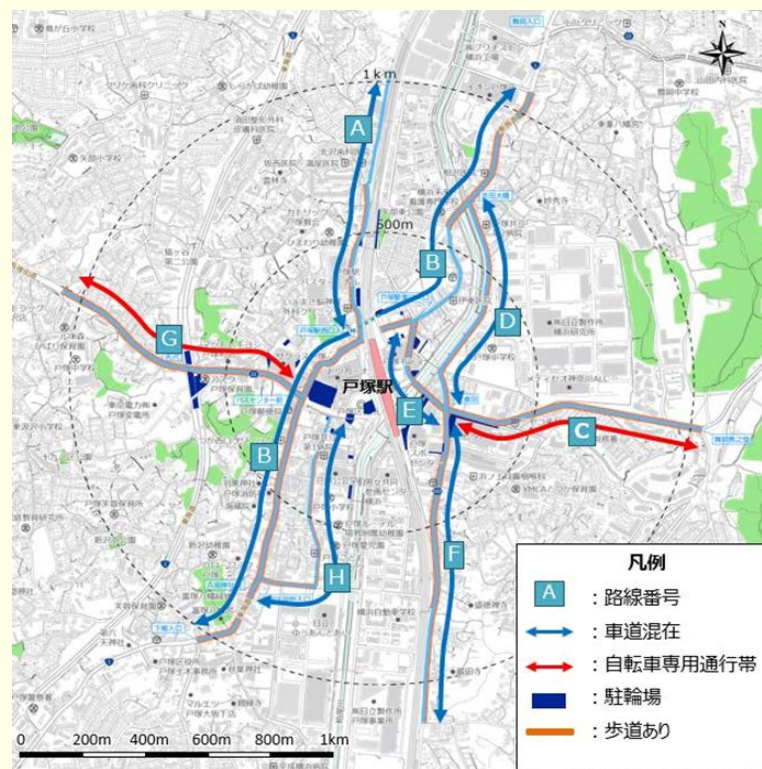
重点エリアでの自転車通行空間の整備推進

重点エリアでの自転車通行空間の整備進捗

- 令和元年度は、鶴見駅周辺・戸塚駅周辺の整備路線の詳細設計を実施。
- 令和2年度は、鶴見駅周辺と戸塚駅周辺の自転車通行空間の整備着手。



鶴見駅周辺

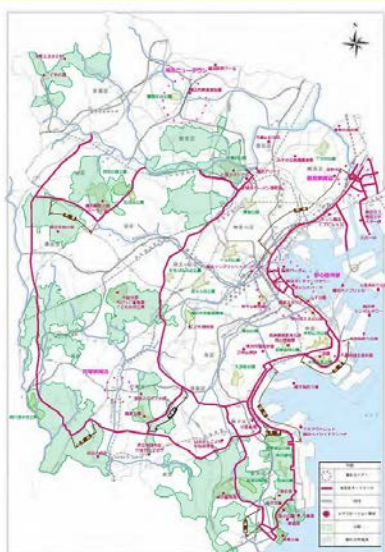


戸塚駅周辺

背景

- 都心臨海部では「横浜市自転車活用推進計画」に基づき、安全性の向上が必要な「重点エリア」を設定して、安全で快適な自転車利用環境の整備を行っている。
- また、都心臨海部では観光地としての魅力を高める視点も加え、観光・賑わい施設、コミュニティサイクルポート、駐輪場の立地等の立地条件等を踏まえながら面的な整備を推進するための「都心臨海部自転車ネットワーク構想」の策定を行う。

<重点エリア>



<都心臨海部での整備推進>

重点エリアとしての
面的整備の推進

- ・自転車利用や自転車関連事故の多い地域(鉄道駅周辺等)
- ・その他自転車利用環境の向上が必要な地域

観光地としての観点での
面的整備の推進

- ・観光地としての魅力を高める観点の整備
- ・観光・賑わい施設、コミュニティサイクルポート、駐輪場等の立地を踏まえた整備



都心臨海部自転車ネットワーク構想

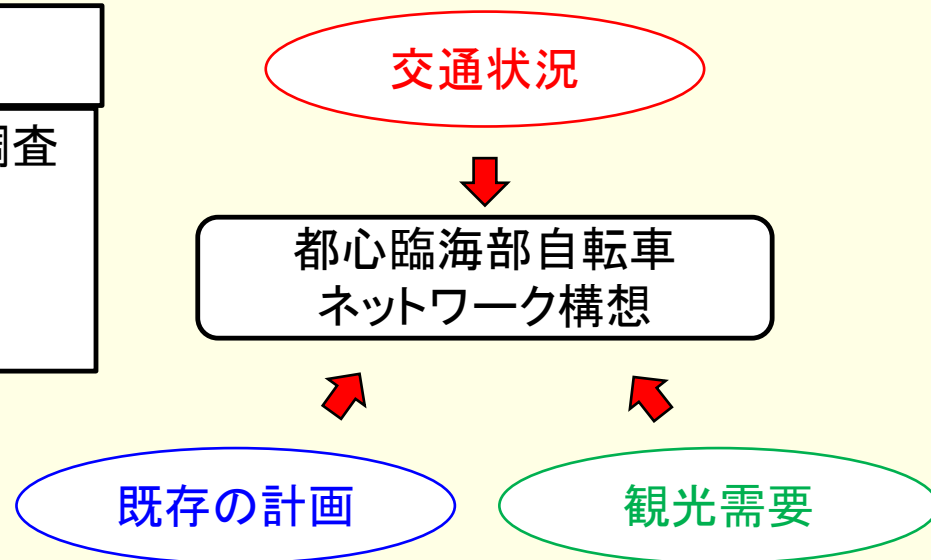
都心臨海部自転車ネットワーク構想とは

「都心臨海部自転車ネットワーク構想」は都心臨海部での「自転車通行環境整備実行計画」の策定に先立ち、現地の交通状況、道路構造、観光施設利用者の意向を調査・分析し、観光の視点を加えて、都心臨海部での自転車ネットワークのあり方を示すもの

<都心臨海部自転車ネットワーク構想>

都心臨海部自転車ネットワーク構想

- 自転車通行環境整備を検討するための調査
 - ・交通状況(歩行者・自転車)
 - ・道路構造
 - ・観光施設利用者の意向



都心臨海部自転車ネットワーク構想作成に向けた調査

<検討範囲>



令和元年度の取組

既存及び計画中の自転車NW路線に加え、新たな路線を含めた左図の範囲で調査を行い、ネットワーク構想作成に向けた検討を実施

実施した調査

- ・ 交通量調査
- ・ 利用者意向調査

交通量調査の概要

＜調査位置図＞



交通量調査実施日

令和元年 7/7(日)、7/9(火)

調査項目

自転車交通量・歩行者交通量
断面交通 昼12時間

調査位置

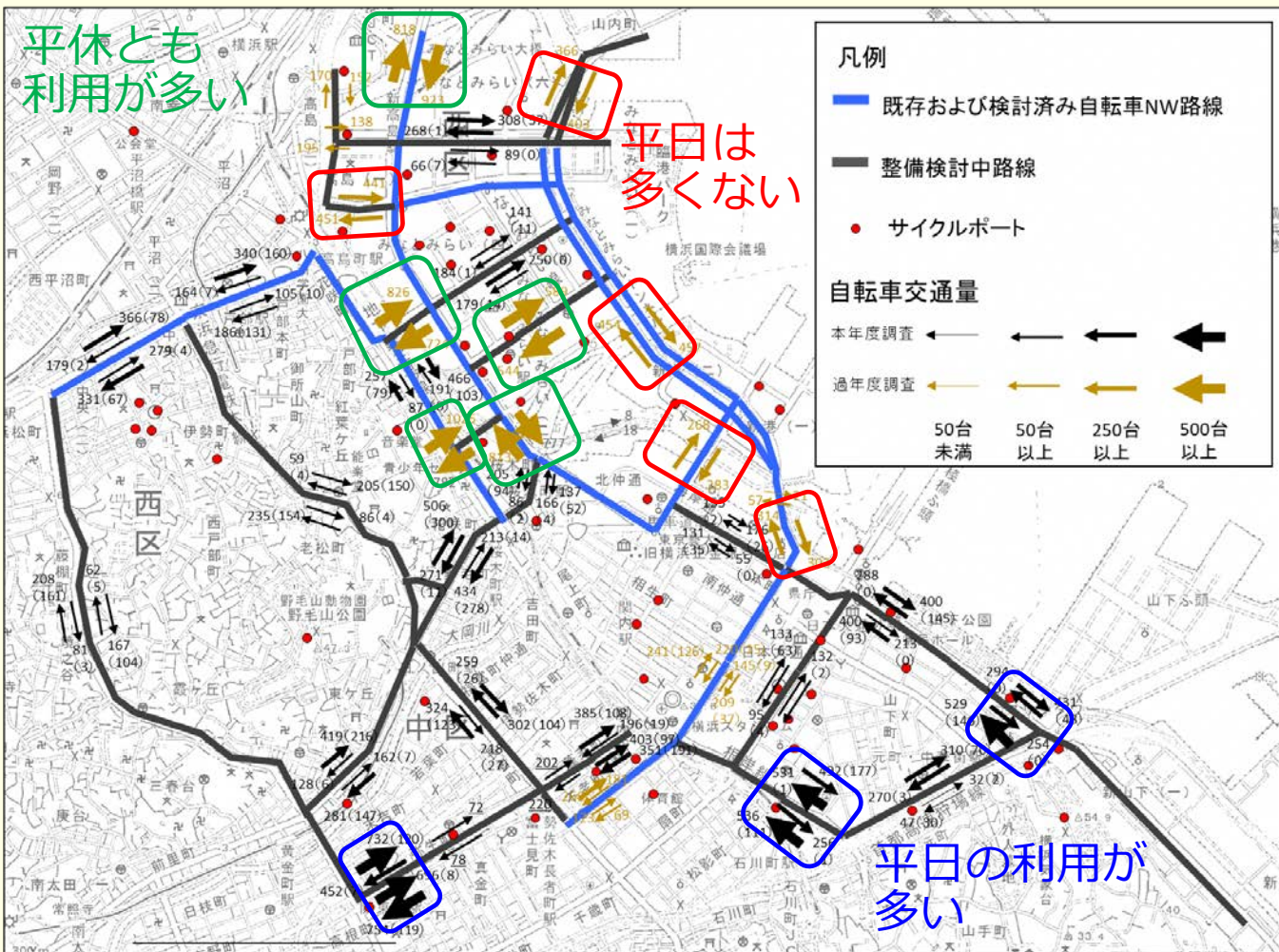
左図に示すNo.1～No.19

その他

過年度みなとみらい地区で行った交通量調査と合わせ整理

交通量調査の結果(平日 自転車)

平日 自転車 昼12時間

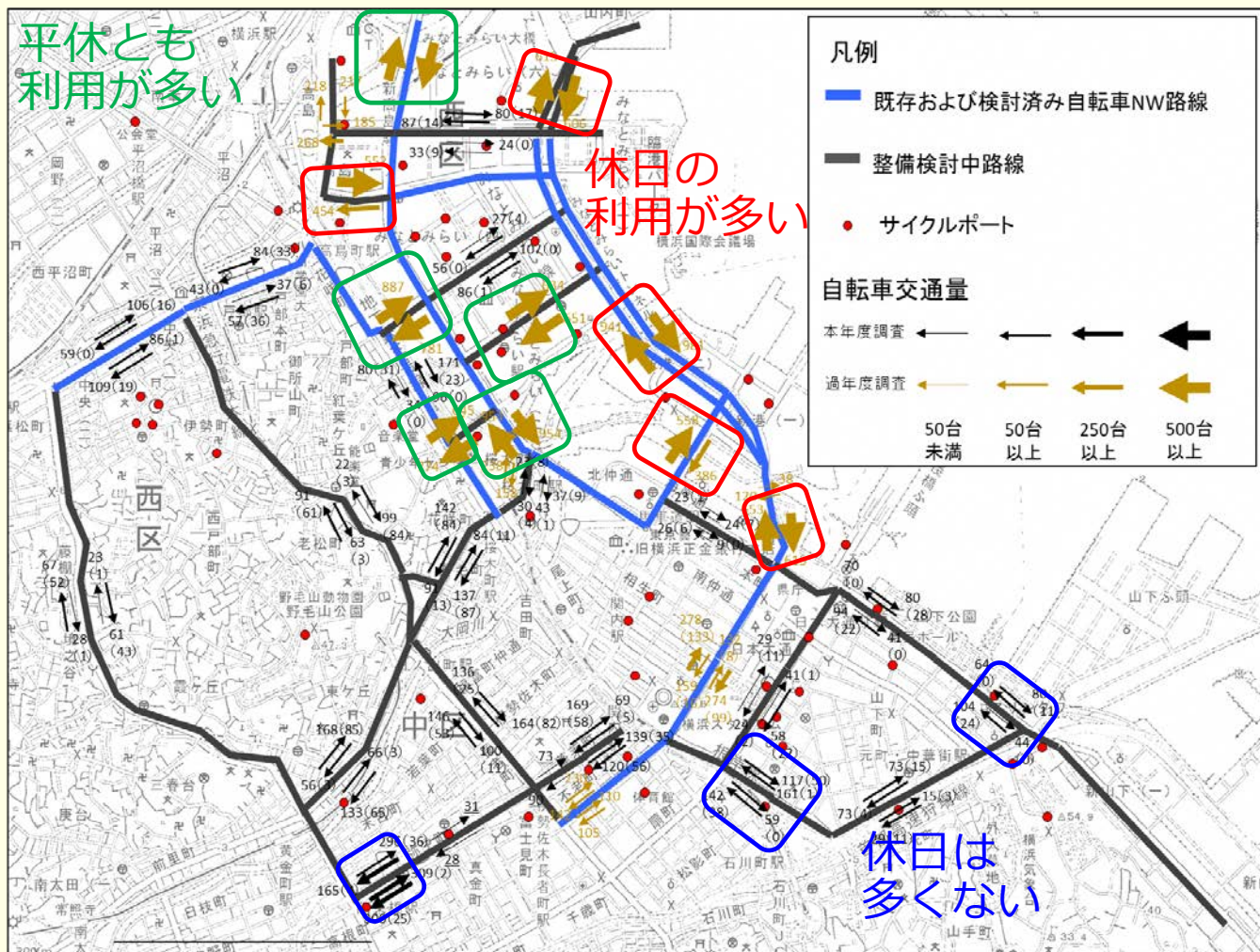


- 平日・休日共 →みなとみらいエリアでの交通量が多い

- 平日 →関内エリアでの交通量が多い
- 通勤や買い物などの利用が想定される

交通量調査の結果(休日 自転車)

休日 自転車 昼12時間



- 平日・休日共
→みなとみらいエリア
での交通量が多い

- 休日
→みなとみらい海沿い
での交通量が多い
→観光・レジャーでの
利用が想定される

交通量調査の結果(まとめ)

<自転車交通量が多い路線 (12時間 断面交通量1000台以上)>



- ・平日・休日の自転車交通量を調査・整理
- ・ネットワーク作成において日常の利用も考慮することが必要
- ・交通量が多い路線はネットワーク構想の整備路線候補

都心臨海部における自転車利用環境づくりの推進

利用者意向調査の概要

- ・アンケート対象者：各施設の利用者（日本人や外国人・移動手段(歩行・自転車)を問わず)

<調査位置図>



利用者意向調査実施日

令和元年 10/26(土)、
10/29(火)、11/2(土)

調査箇所

左図に示す9箇所

調査項目

- ・ 来場目的
- ・ 来場手段
- ・ 自転車の利用意向
- ・ 自転車活用に必要なこと
- ・ 当日の移動経路
- ・ 自転車でいきたい場所

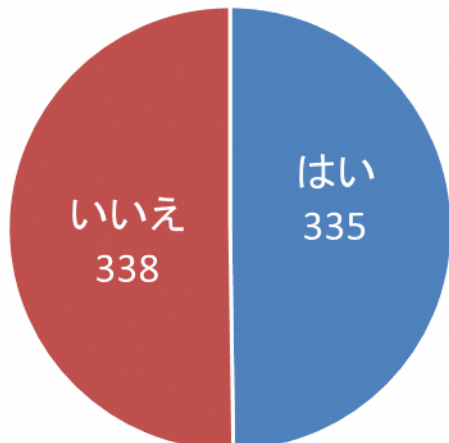
都心臨海部における自転車利用環境づくりの推進

利用者意向調査の結果(抜粋)【日本人】

- 都心臨海部で自転車を利用したい人は全体の約1/2。観光・レジャー目的の人のみ抽出した場合でも同程度。
- 30代までの1人で来場する観光・レジャー目的の人を抽出すると全体の約3/4
- 観光目的で来ている若者は、特に観光での自転車の利用意向が高いことがわかる。

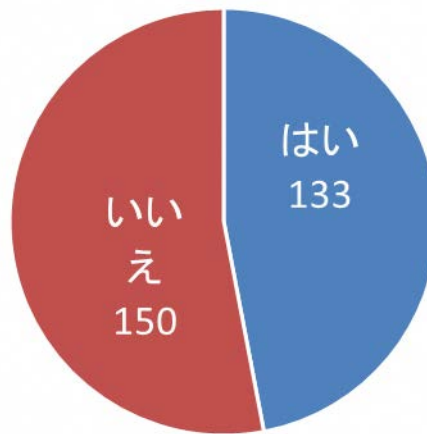
<ヒアリング結果 日本人全体 N=673>

Q2.都心臨海部で
自転車を利用したいか

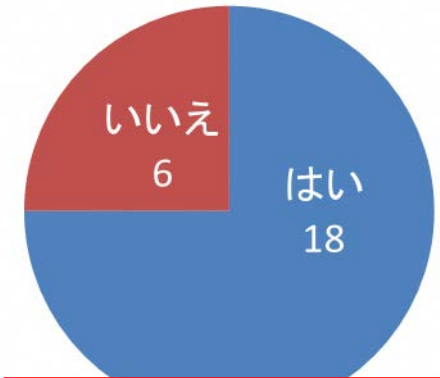


およそ半分は利用意向あり

観光・レジャー目的の人
N=296



30代までの1人で来場する
観光・レジャー目的の人
N=24



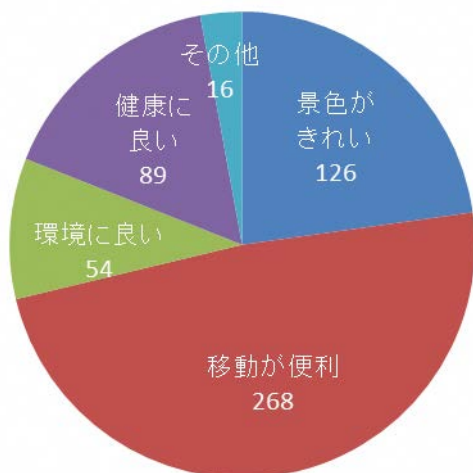
1人で来場する若者は
利用意向が高い

利用者意向調査の結果(抜粋)【日本人】

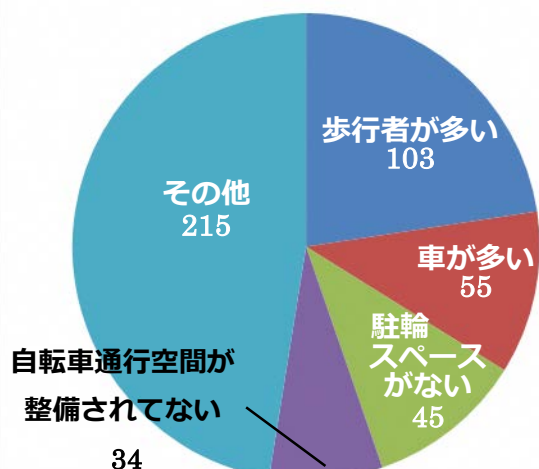
- 横浜の観光に必要な自転車整備については「自転車通行空間を整備」「駐輪場を整備」の順で多い一方、「自転車の通行ルールやマナーの徹底を周知」などの回答も同程度の比率があり、「まもる」枠組みとの連携の必要性があることがわかる。

<ヒアリング結果 日本人全体 N=673>

Q3.利用したい理由



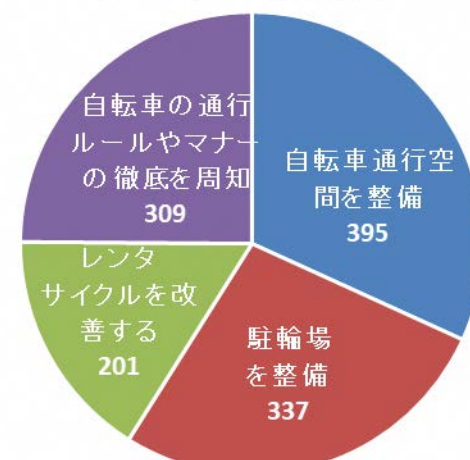
Q4.利用したくない理由



その他の主な回答

- ・歩きが良い 45
 - ・必要性がない 28
 - ・普段乗らない 24
 - ・坂や丘が多い 22
- など

Q5.横浜の観光に必要な自転車整備は



ルールやマナーの必要性を求める声も多い

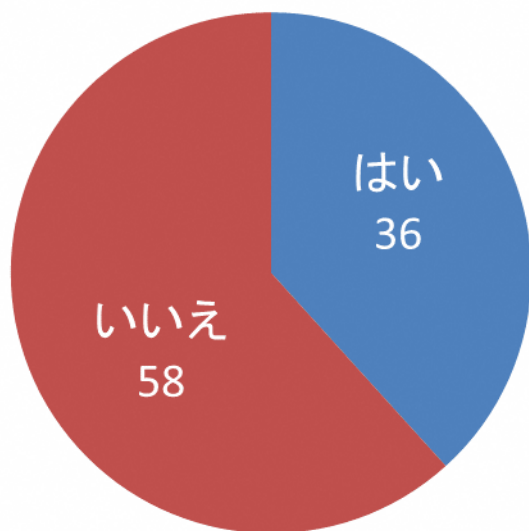
都心臨海部における自転車利用環境づくりの推進

利用者意向調査の結果(抜粋)【外国人】

- 外国人の場合、都心臨海部で自転車を利用したい人は全体の約1/3となるが、観光目的の人に限定すると全体の約1/2となり、観光での自転車利用意向が高いことがわかる。

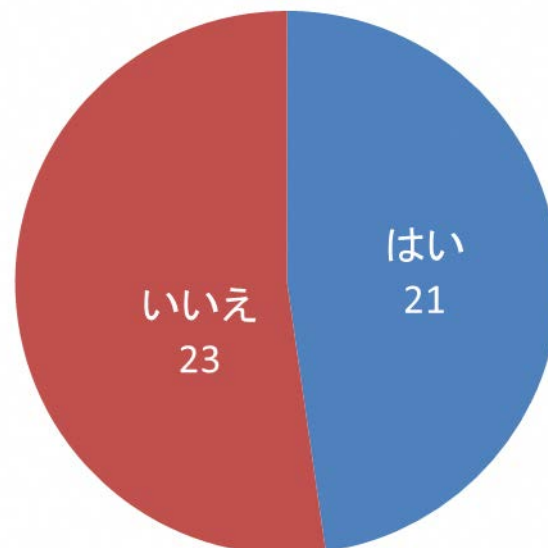
<ヒアリング結果 外国人全体 N=94>

Q2.都心臨海部で
自転車を利用したいか



およそ1/3は利用意向あり

観光目的の人 N=43

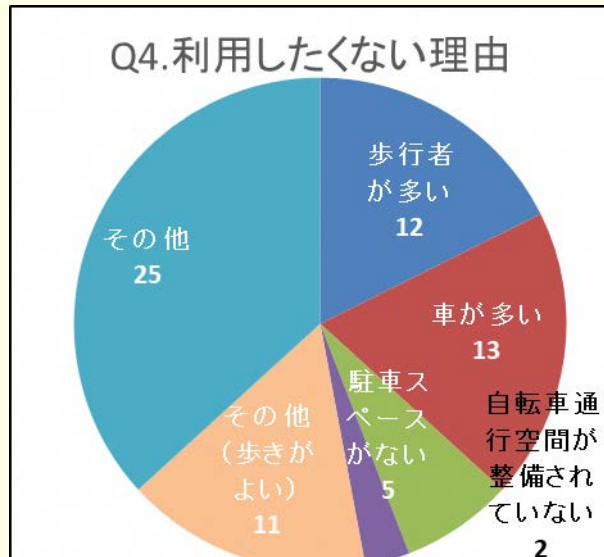
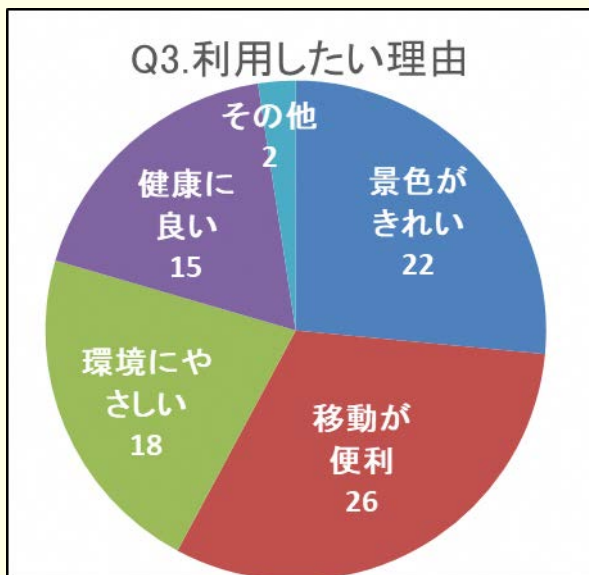


観光目的の人については
およそ1/2が利用意向あり

利用者意向調査の結果(抜粋)【外国人】

- 横浜の観光に必要な自転車整備については、日本人の結果と異なり「レンタサイクルを改善」が最も多く、自転車通行空間の整備とは別に課題の整理が必要

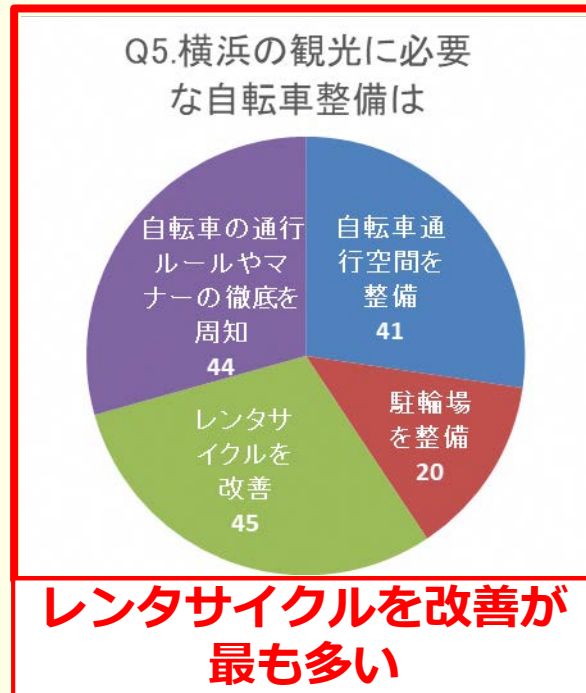
<ヒアリング結果 外国人全体 N=94>



その他の回答例

- ・ルールが異なり怖い
- ・時間がない
- ・ツアーバスでよい
- ・坂が多い

など



利用者意向調査の結果(抜粋)【移動経路】

<移動経路 調査結果>

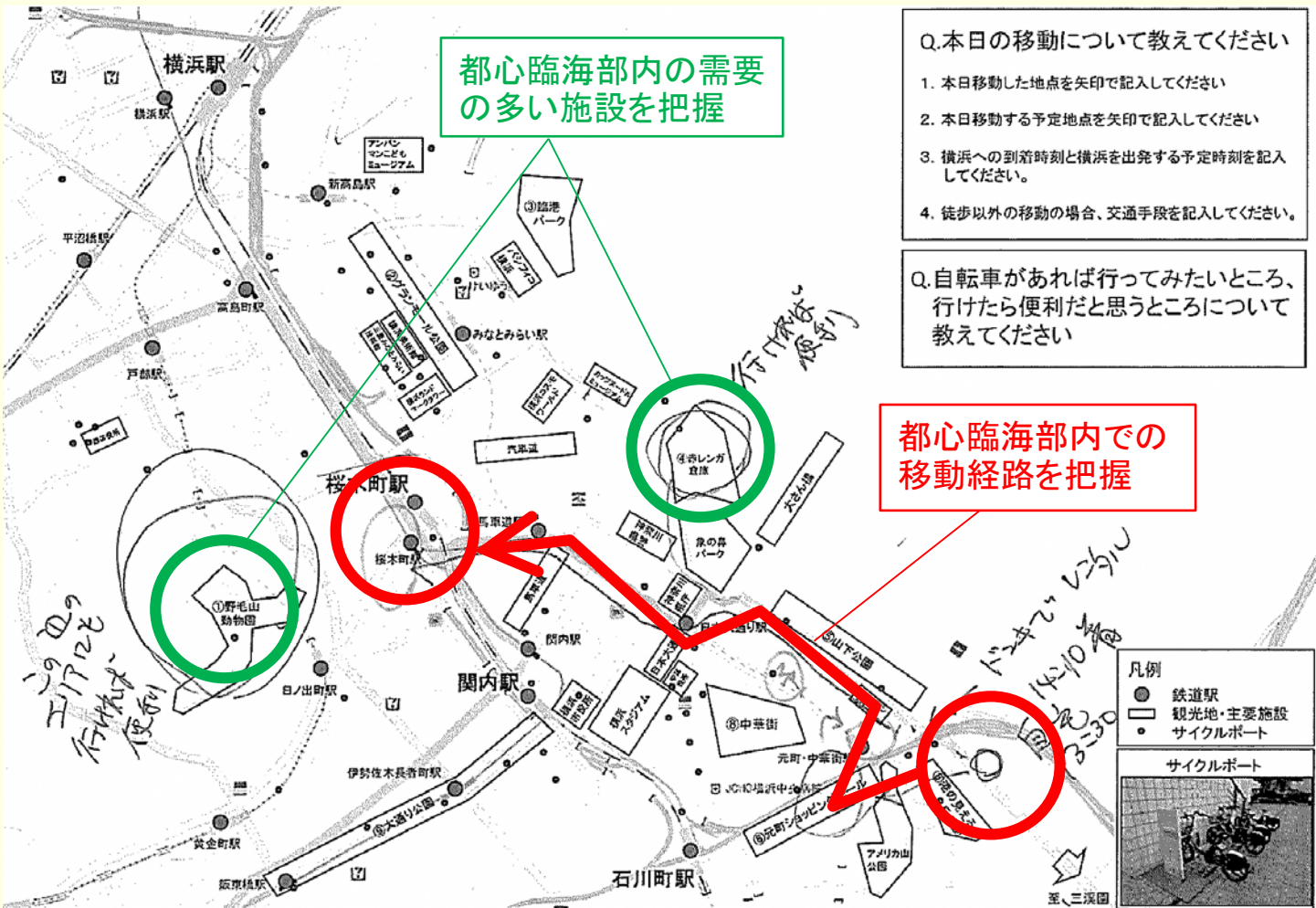
都心臨海部内の需要の多い施設を把握

- Q.本日の移動について教えてください
1. 本日移動した地点を矢印で記入してください
 2. 本日移動する予定地点を矢印で記入してください
 3. 横浜への到着時刻と横浜を出発する予定時刻を記入してください。
 4. 徒歩以外の移動の場合、交通手段を記入してください。
- Q.自転車があれば行ってみたいところ、行けたら便利だと思うところについて教えてください

都心臨海部内での移動経路を把握

移動経路の把握

- ・ 移動経路を把握
- ・ 需要の多い施設を把握
- ・ 発着の多い駅を把握



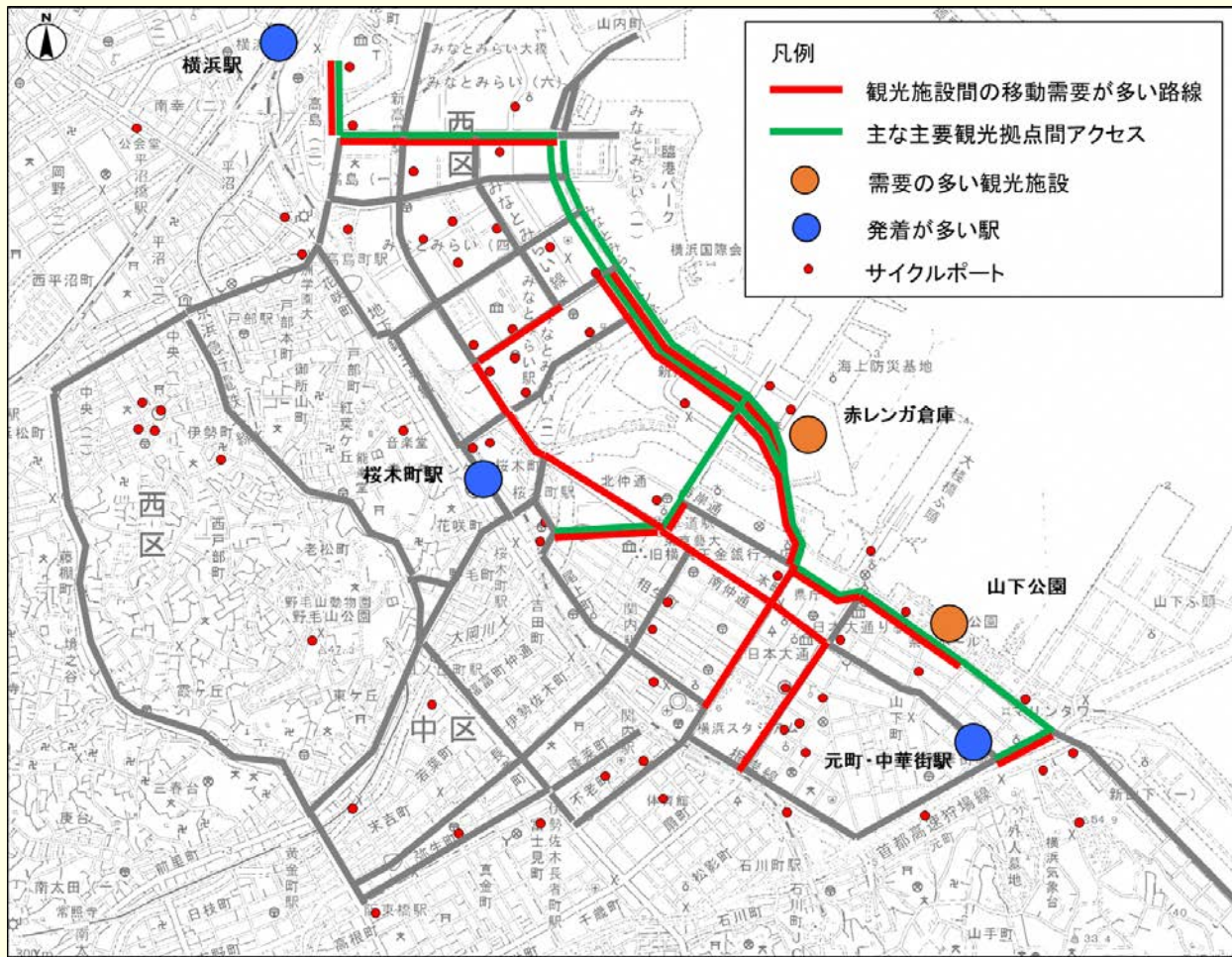
凡例

- 鉄道駅
- 観光地・主要施設
- サイクルポート

サイクルポート

利用者意向調査の結果(抜粋)【移動経路】

＜移動経路 調査結果＞



下図:地理院地図

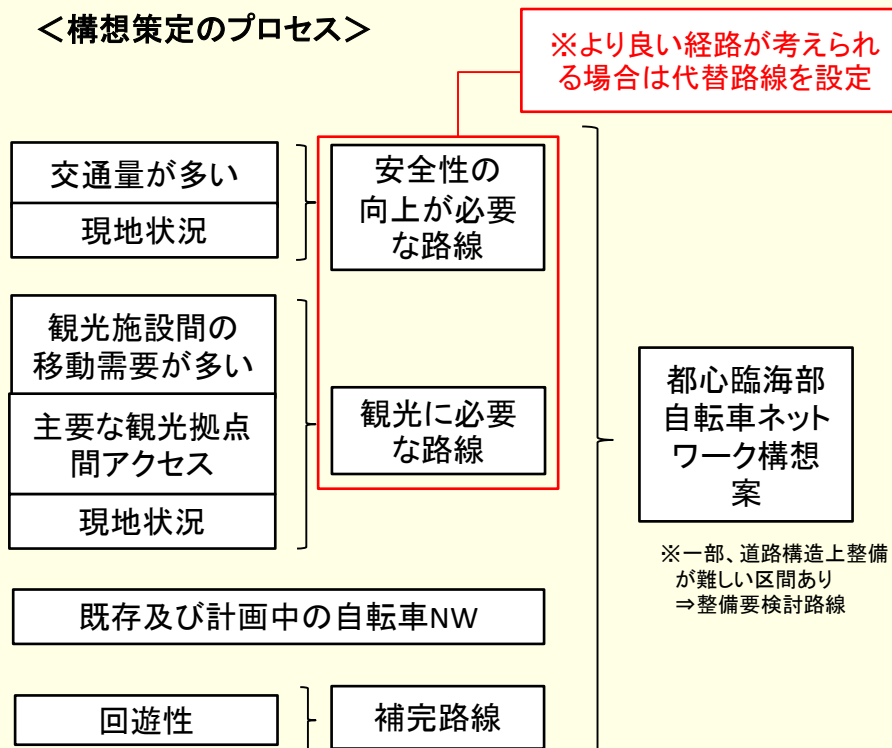
- ・ 調査結果を路線に落とし込み、観光施設間の移動需要が多い路線を把握
- ・ 「主要な観光拠点間アクセス」を把握
(発着の多い駅⇔需要の多い観光施設)
- ・ 整備が必要な路線を把握

都心臨海部における自転車利用環境づくりの推進

都心臨海部自転車ネットワーク構想案

- 調査結果より得られた「交通量が多い路線」「観光に必要な路線」の中から、より良い経路が考えられる箇所について「代替路線」を設定
- 「既存及び計画中の自転車NW」を合わせ、回遊性を踏まえて適宜「補完路線」を追加することで、都心臨海部自転車ネットワーク構想を策定

<構想策定のプロセス>



<都心臨海部自転車ネットワーク構想>



今後の流れ

- 都心臨海部の自転車通行空間整備をするためには、自転車通行空間整備実行計画の策定が必要
- 自転車通行空間整備実行計画の策定に向け、自動車の交通量調査、道路幅員の測量などの調査を行う予定

都心臨海部自転車ネットワーク構想



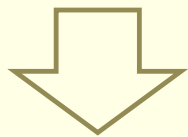
交通量調査、道路幅員調査
地元調整、交通管理者協議等



都心臨海部での自転車通行空間整備
実行計画策定

横浜市自転車NW図策定の背景

H18.3に策定した横浜市自転車NW計画図では、環状2号線（内コリドー）と環状4号線（外コリドー）等の幹線道路や河川サイクリングロードを軸とした考え

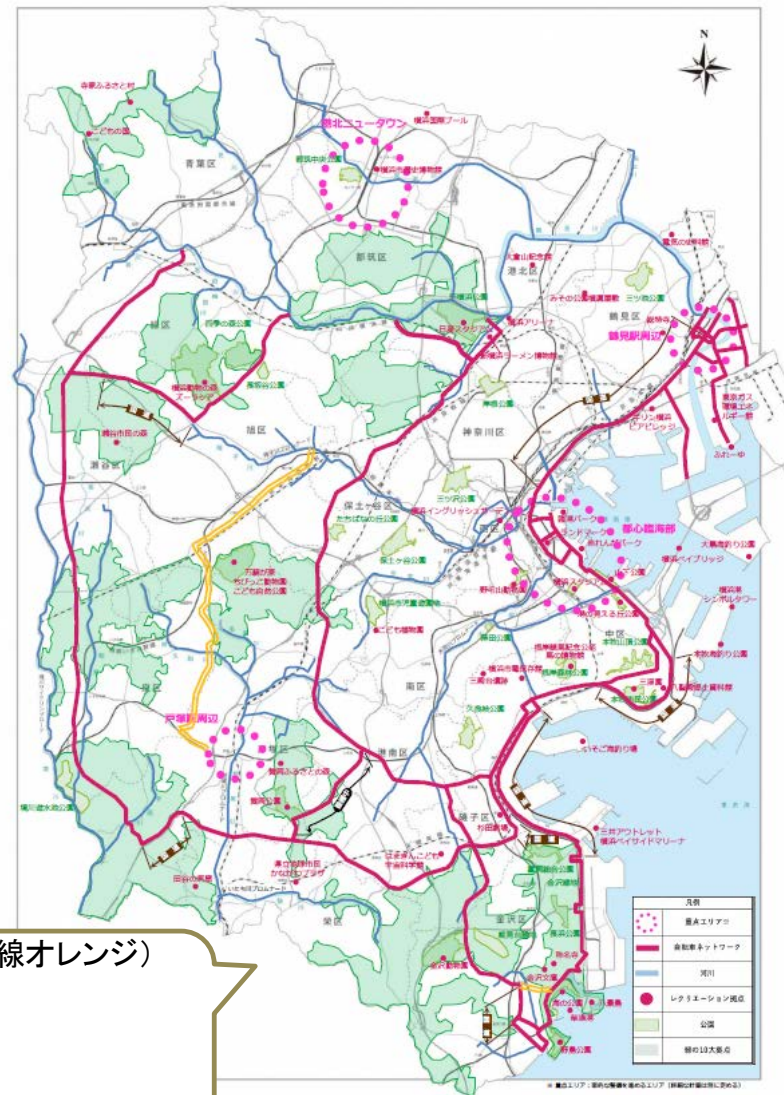


追加路線の提示

今後都市計画道路を整備する箇所ないしはこれから整備する路線について、NWに追加

今後随時NWの更新を行い、追加路線を付記していく予定

追加路線（二重線オレンジ）
 鴨居上飯田線
 中田さちが丘線
 横浜伊勢原線
 泥亀釜利谷線

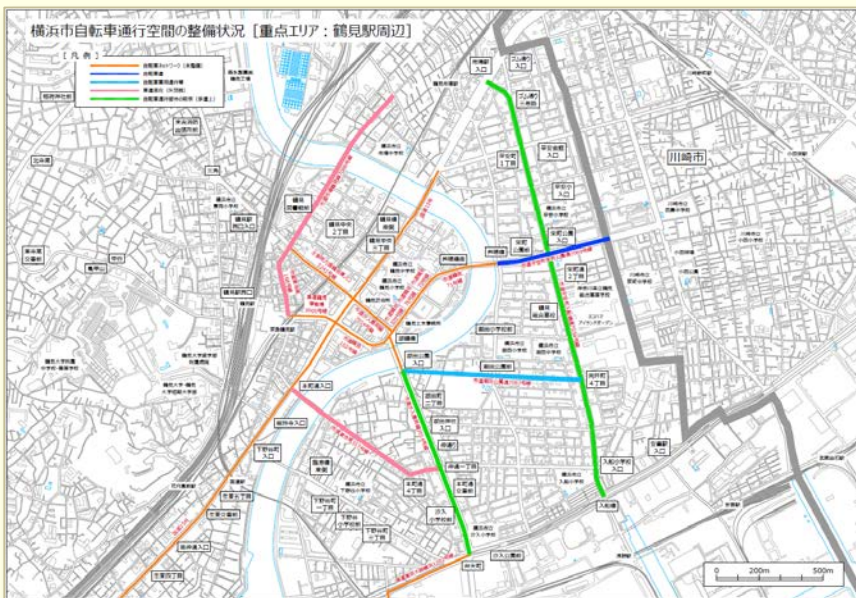


整備済の通行空間に関する情報提供の充実

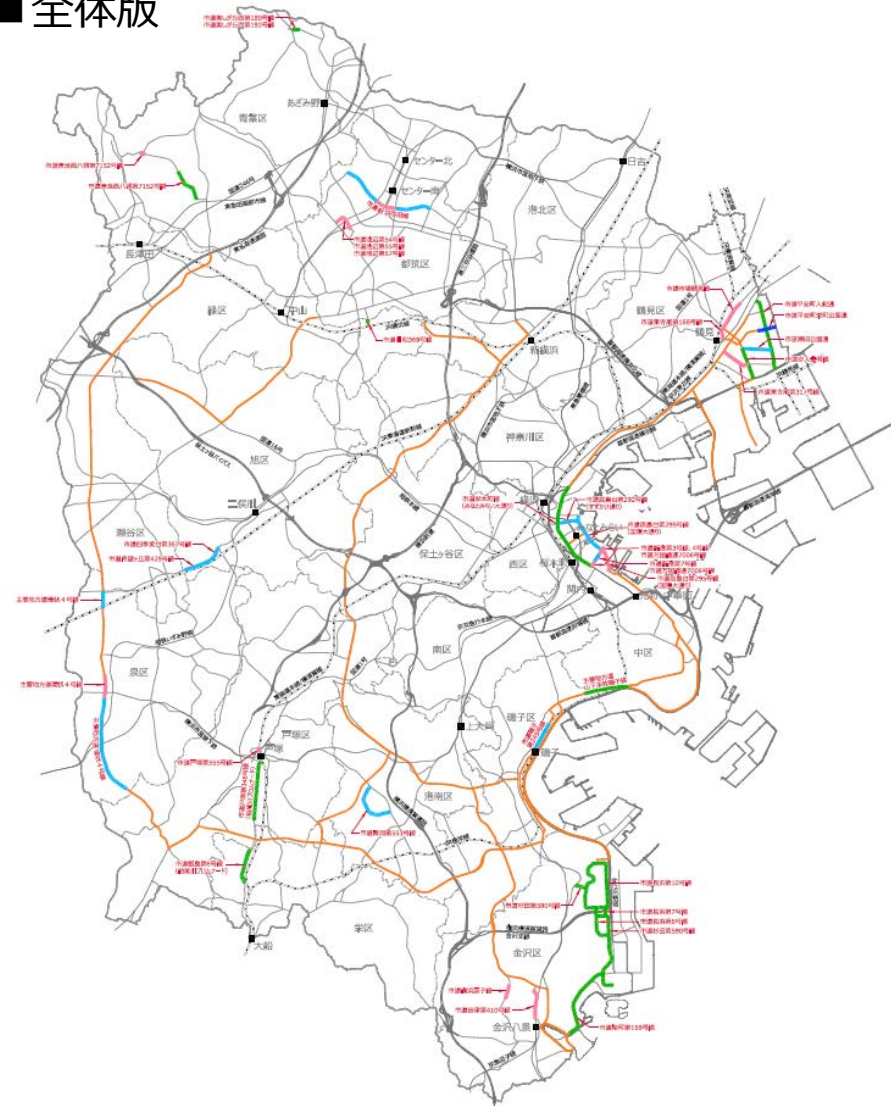
- 市内で整備済の通行空間について、整備形態と整備個所を示す**マップ**を作成
- 市の自転車活用情報サイトに掲載

- ・ 市内全体版 1部
- ・ 拡大版 4部
(鶴見駅周辺、戸塚駅周辺、港北ニュータウン、都心臨海部)

■ 拡大版 (鶴見駅周辺)



■ 全体版



■方針

■具体の取組

方針
1

目的に応じた
駐輪場の「量」
を確保する

(1) 買い物等の集客施設での利用に応じた駐輪場の確保

(2) 鉄道利用等に対応した駐輪場の拡充

方針
2

サービスの
「質」を高める

(1) 市営自転車駐車場のサービス向上

(2) 持続可能な市営駐輪事業のしくみ構築

方針
3

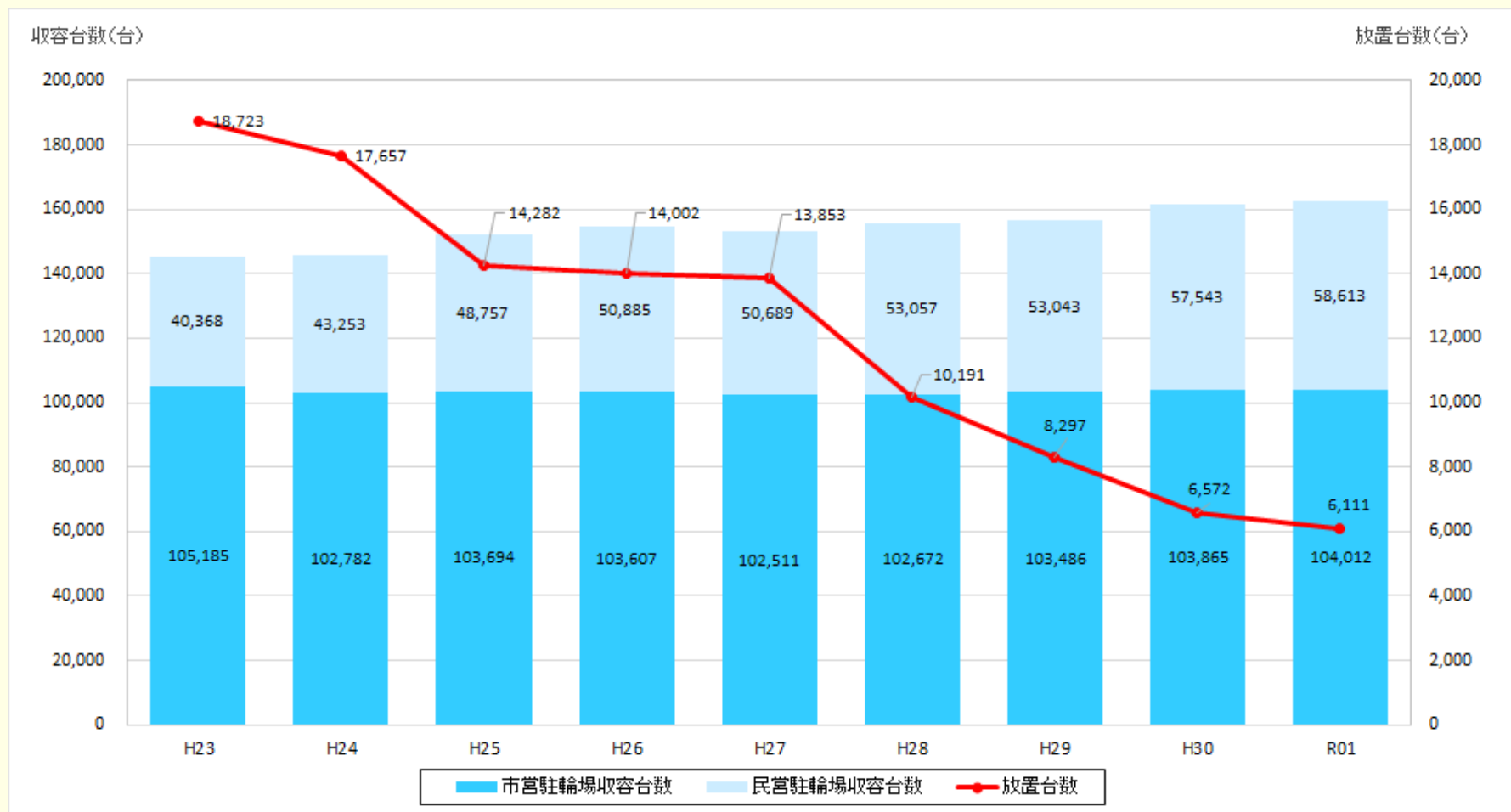
まちに適した
駐輪対策を進める

地域、民間、行政の連携による駐輪対策の実施

とめる

放置自転車台数の推移

- 放置自転車台数はR1年度も引き続き減少しており、H23年度と比較して約3分の1



- 駐輪場の附置を義務付ける条例の義務規定を適用した運用を令和元年度から開始
- 該当する施設の新築・増築の機会を捉えて、附置義務による駐輪場の整備を促進

駐輪場附置義務条例 適合確認件数等（2019年4月～2020年3月末）

	件数	附置台数	設置台数
集客施設	29 件	931 台	1,118 台
共同住宅等	323 件	5,999 台	7,956 台
複合施設※	11 件	1,872 台	2,642 台
合計	363 件	8,802 台	11,716 台

【計画指標値】
 附置義務条例による
 集客施設の駐輪場収容
 台数の増加 7,200台
 (2021年度末時点)

※ 1つの施設内に集客施設と共同住宅等が両方含まれるもの

- 駐輪場の整備手法の一つとして、「道路占用入札」により民間事業者に駐輪場を整備・運営してもらう仕組みを新たにスタート



- ・ 場所：鶴見駅西口
- ・ 開業日：令和元年11月28日
- ・ 収容台数：72台（自転車）



- ・ 場所：羽沢横浜国大駅
- ・ 開業日：令和元年11月29日
- ・ 収容台数：74台（自転車）



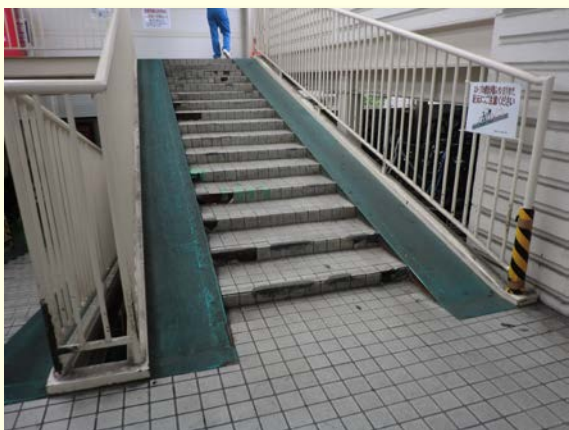
- ・ 場所：羽沢横浜国大駅
- ・ 開業日：令和2年4月13日
- ・ 収容台数：191台（自転車）

市営自転車駐車場の課題

- ✓ 一部の施設では老朽化が進んでいる
- ✓ 電動アシスト自転車の駐輪スペースの拡充、料金収受のキャッシュレス化など、ニーズの多様化
- ✓ 管理運営委託費が人件費増の影響で増加



自転車活用推進計画に基づき、**持続的な維持管理を実現するしくみ**を検討していく



市営自転車駐車場の大規模修繕事例（鶴見駅西口自転車駐車場、H30年実施）

■方針

■具体の取組

方針 1

健康的な
「ライフスタイル」
にいかす

(1) 自転車を活かした健康づくりの支援

(2) サイクルスポーツへの興味を高める取組推進

方針 2

横浜らしい
「まちづくり」
にいかす

(1) 観光や賑わいのあるまちづくりでの自転車活用の推進

(2) まちづくりと連携した自転車活用の推進

- 自転車を積極的に利用している人の声を聴くため、サイクリストが集まるスポーツイベントにおいて**アンケート調査**を実施

実施日：令和元年11月30日（土）

実施場所：日産スタジアム サイクルパークフェスティバル 会場
（横浜市港北区小机町）

対象：同イベントに参加するサイクリスト

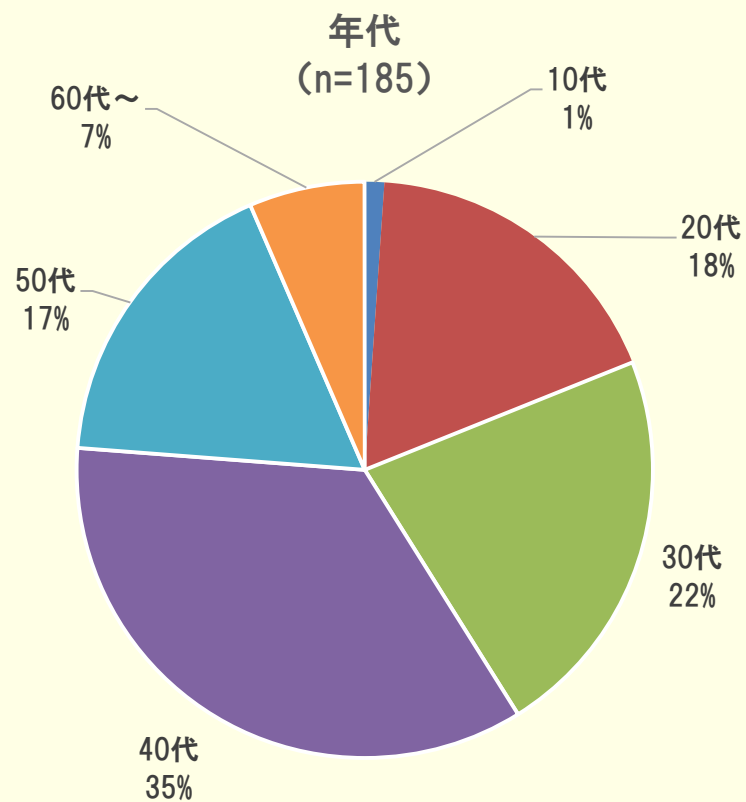
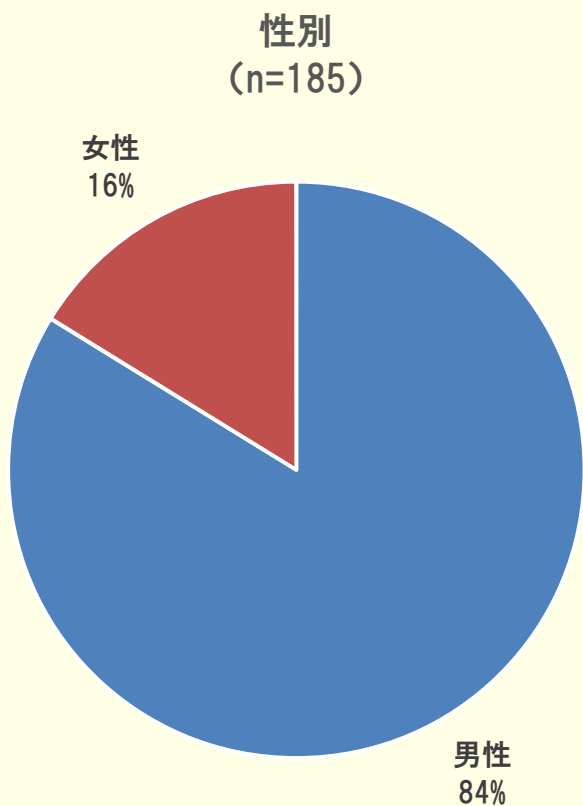
回答者数：185人（参加者数：1,793人）

設問内容：右記のとおり



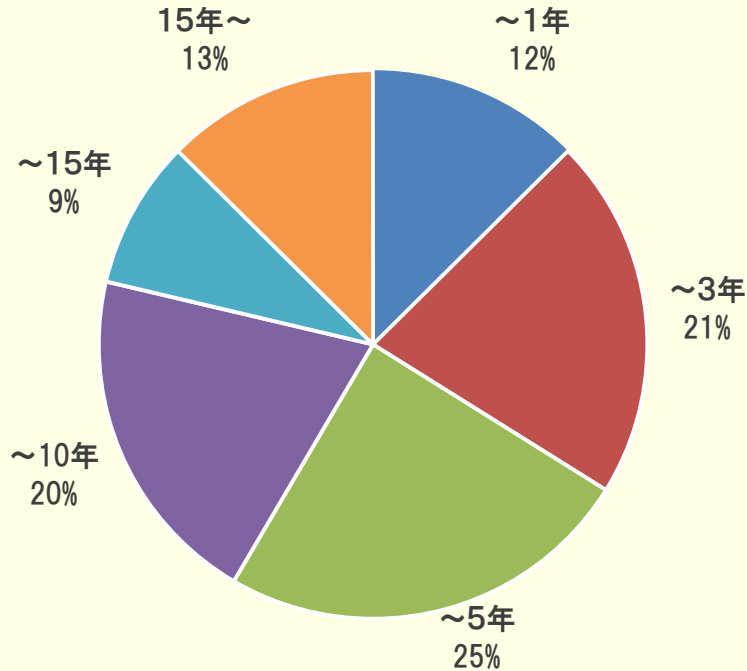
項目	設問内容
回答者属性	年齢、性別
自転車の利用状況	自転車に乗る頻度、時間、経験年数
自転車と健康	自転車に乗ることを感じる健康効果
自転車通勤	自転車通勤の実施の有無、自転車通勤のメリットや課題、自転車通勤を行っていない理由など

- ◆ 性別は男性が多く84%、女性は16%
- ◆ 年代では40代が一番多く35%、30代・40代で約60%を占める

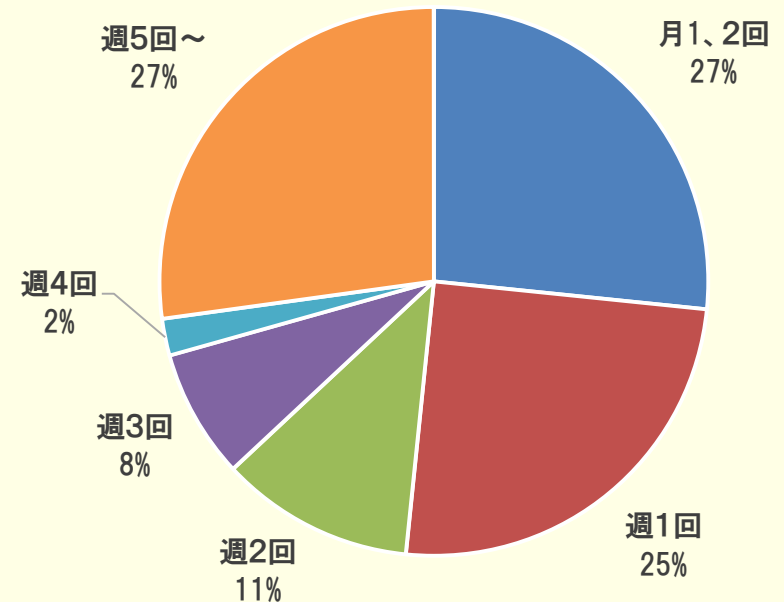


- ◆ 経験年数が5年以内の人が約60%
- ◆ 自転車に乗る頻度は、月1・2回～週1回程度の人が50%超
- ◆ 週5回以上乗る人も約30%を占める

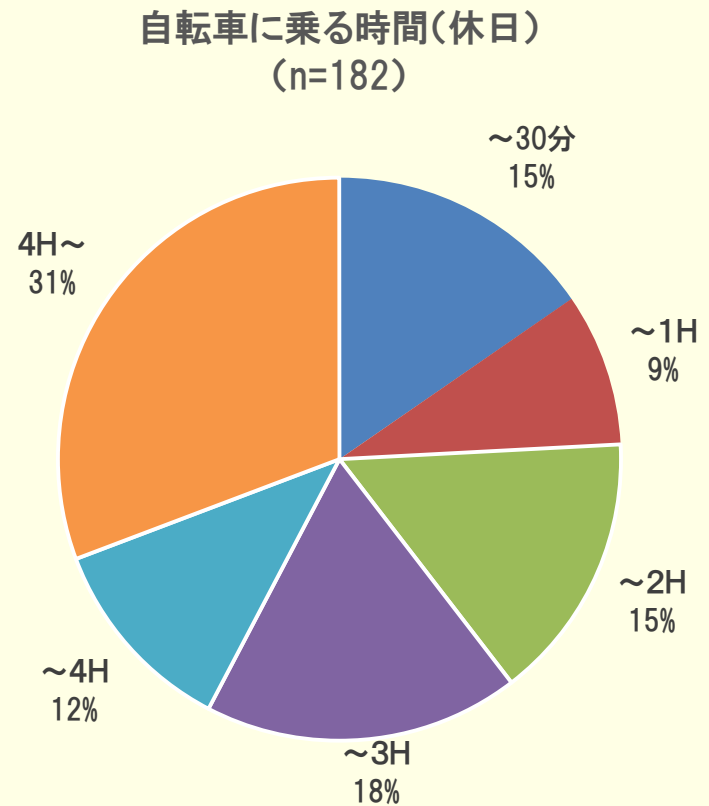
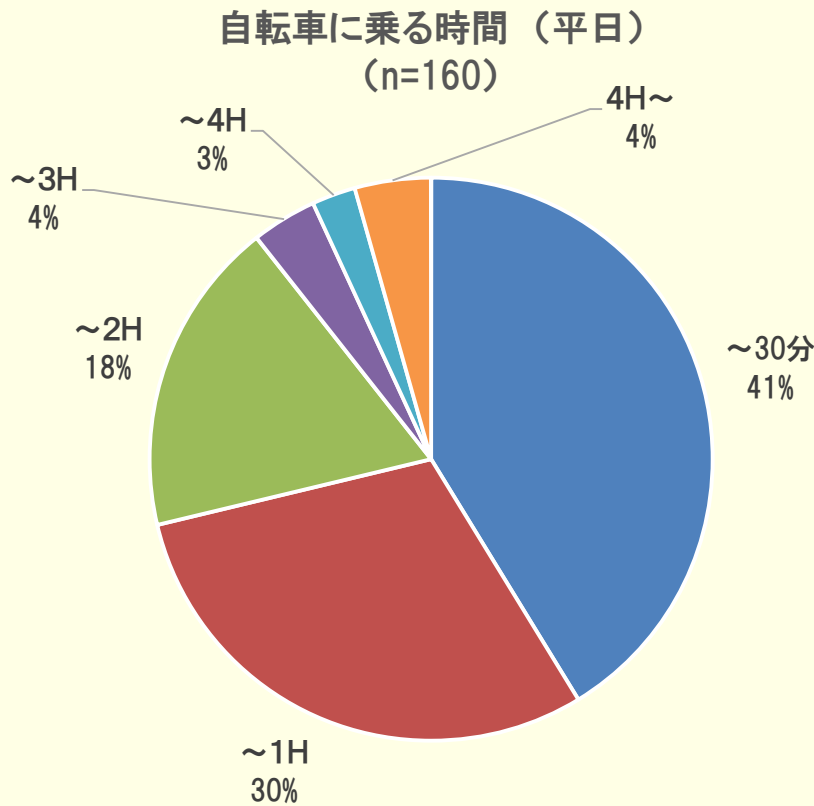
自転車の経験年数
(n=183)



自転車に乗る頻度
(n=184)

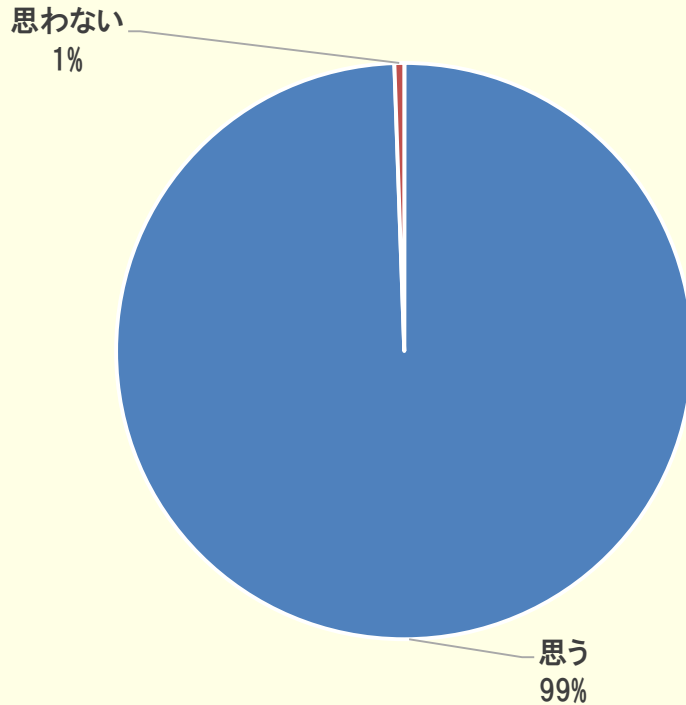


- ◆ 平日に自転車に乗る時間は、1時間以内が約70%
- ◆ 休日では4時間を超える人が約30%

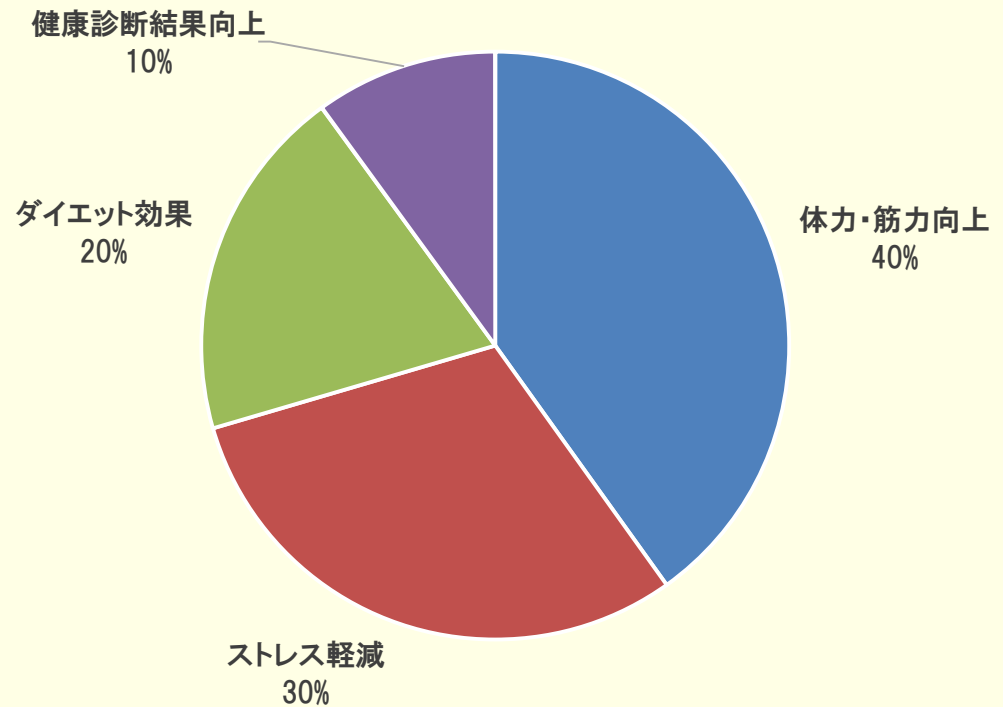


- ◆ 自転車は健康に良いと思う人が圧倒的に多い
- ◆ 健康効果としては、「体力・筋力向上」が一番多く40%、二番目に多かったのが「ストレス軽減」で30%となり、両方で70%を占める

Q: 自転車は健康に良いと思いますか？
(n=183)

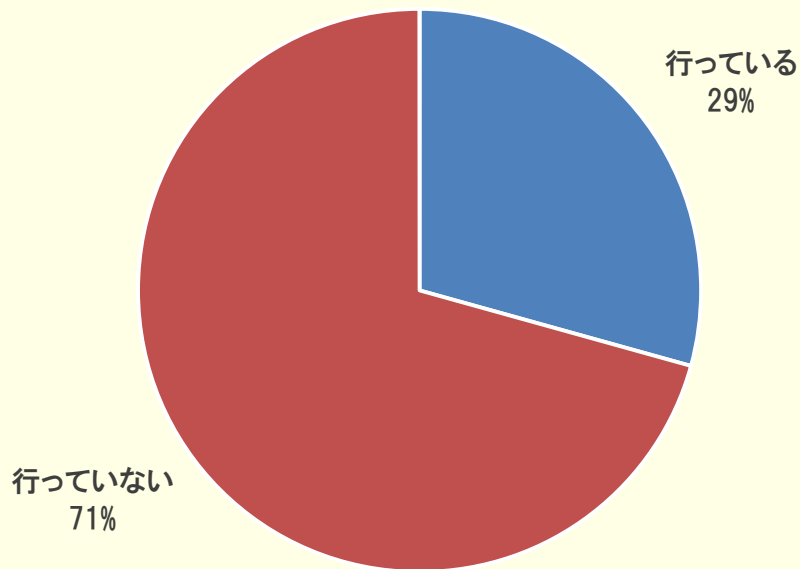


Q: 具体的にどのような健康効果を感じる？
(複数回答可、n=369)

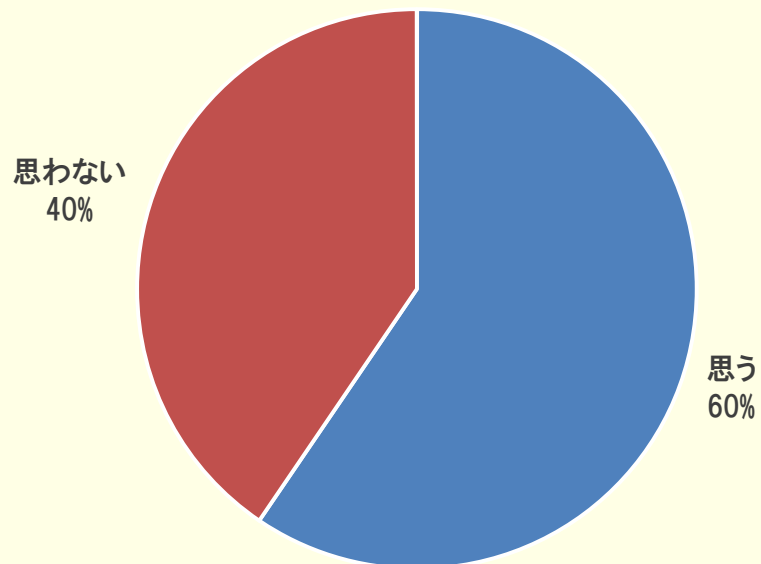


- ◆ 自転車通勤を行っている人が約30%
- ◆ 行っていない人の中で、自転車通勤をしたいと思う人が60%

Q: 自転車通勤を行っている?
(n=174)

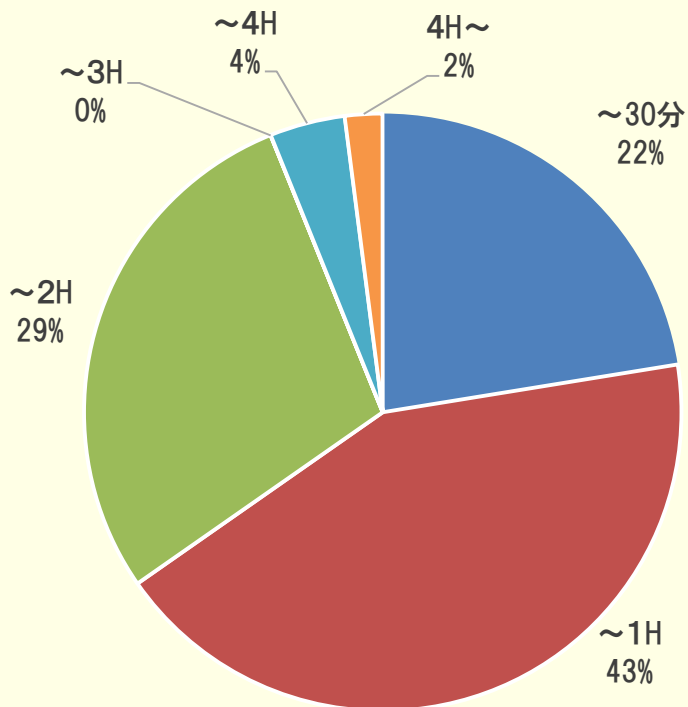


Q: 自転車通勤したいと思う?
(n=121)



◆ 自転車通勤を行っている人が平日に自転車に乗る時間は、30分超～2時間で65%を占める。通勤距離としては、およそ片道5～15kmと推測できる。

自転車通勤者の自転車に乗る時間(平日)
(n=51)



〈参考〉

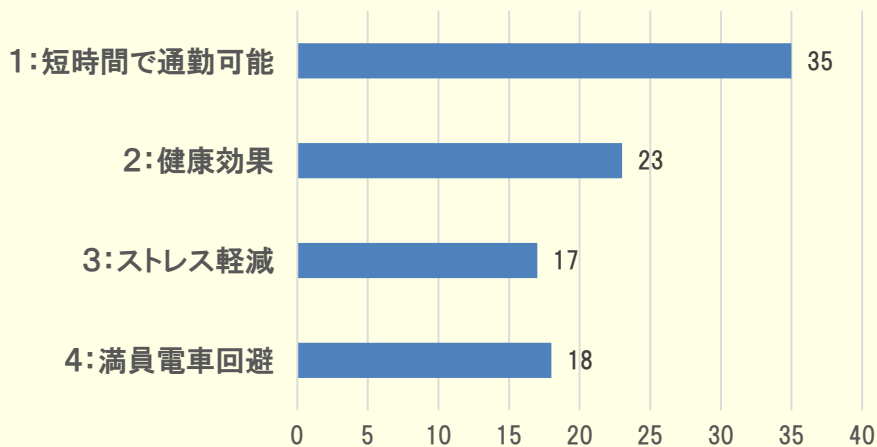
自転車走行距離と時間 (目安)

- ・ 15～20分 : 5km
- ・ 30～40分 : 10km
- ・ 45～60分 : 15km

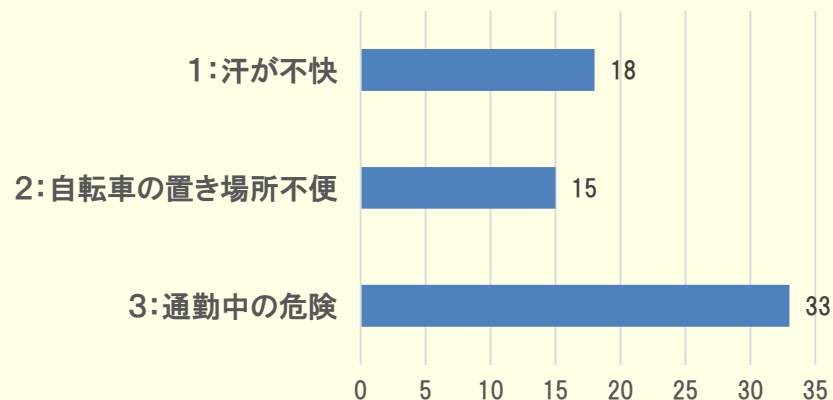
※株式会社シマノ様「マインドスイッチ」より

- ◆ メリットとしては「自転車を使うことでより短時間での通勤が可能」であることを挙げた人が一番多い
- ◆ 自転車通勤で感じる要改善ポイントについては、「通勤中の危険」と回答した人が一番多い

自転車通勤のメリットは？
(複数回答可、n=93)

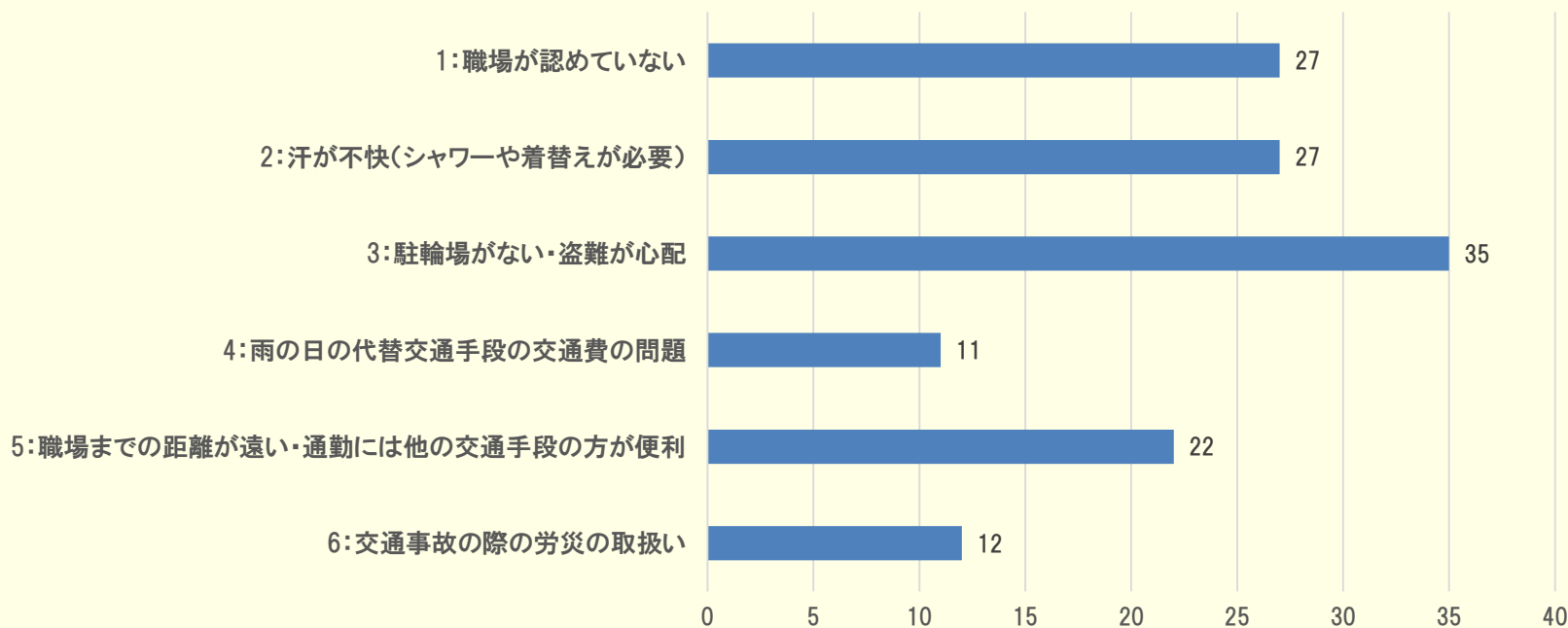


自転車通勤で感じる要改善ポイントは？
(複数回答可、n=66)



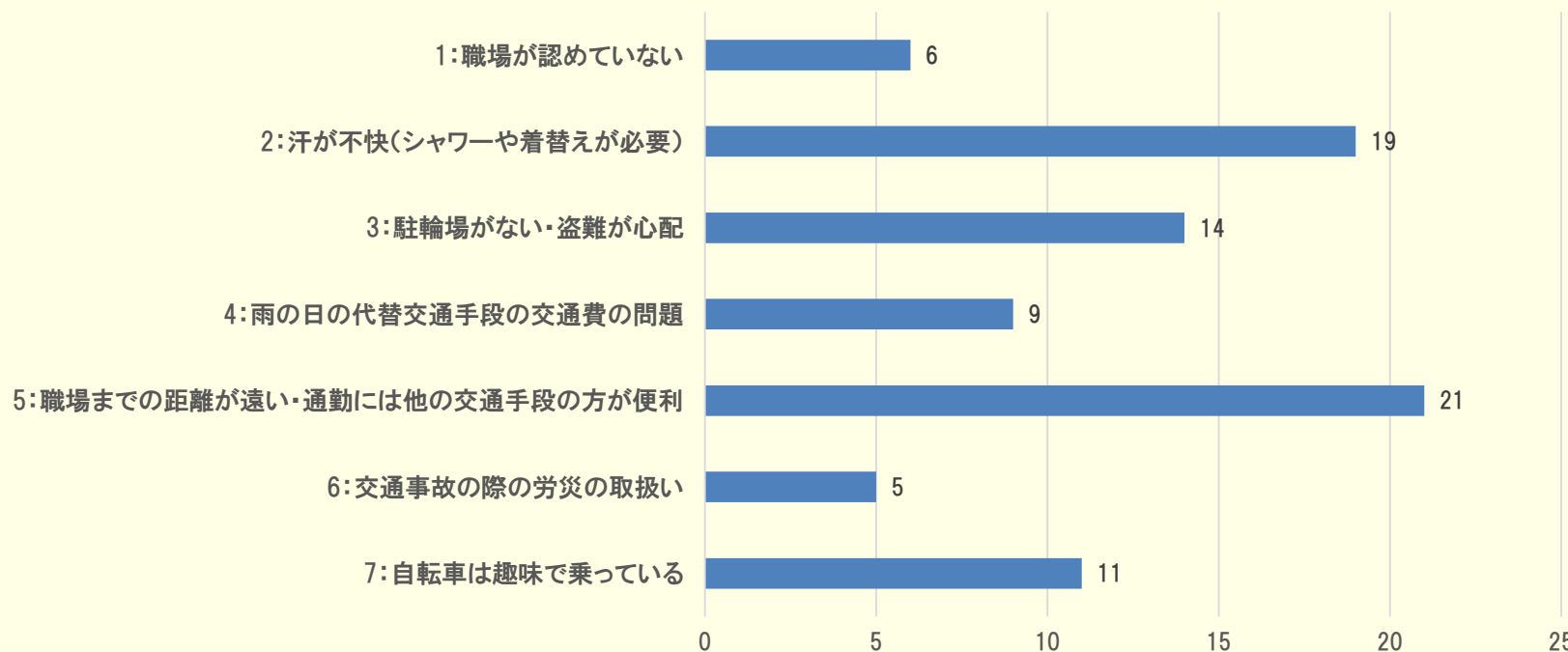
- ◆ 自転車通勤を行いたいができない課題としては、「駐輪場がない・盗難が心配」が最も多く、次に「職場が認めていない」「汗が不快」が続く

自転車通勤したいのにできない課題は？
(複数回答可、n=134)



◆ 自転車通勤を行いたいと思わない理由では、「職場までの距離が遠い・通勤には他の交通手段の方が便利」というものが一番多く、次に「汗が不快」が続く

自転車通勤したいと思わない理由は？
(複数回答可、n=85)



自身が感じる健康効果について

※自由記入欄より

- 仕事のストレス発散、休日の充実
- 体重が減った
- 夜ぐっすり眠れる
- スッキリする
- 外に出ることで行ったことのない場所へ行くようになった
- 食欲が落ちず風邪を引かなくなる

自転車通勤について

※自由記入欄より

- 自転車が走れる環境整備をしてほしい
- 防犯機能のある駐輪スペースを確保できれば自転車通勤したい
- ルールを守らない人がいて危険を感じることもある
- 職場に駐輪場がほしい、駐輪場を増やしてほしい
- 立寄りが不便（施設、銀行、コンビニに駐輪場がない）
- 毎日ではなくたまには自転車通勤を認める制度の創設を希望

健康効果

- ◆ ほとんどの回答者は、自転車に乗ることで健康に良い影響があると感じている
- ◆ 具体的には、体力や筋力の向上を感じており、またストレス軽減といった精神面での効果も感じている人が多い
- ◆ 体重の減少や健康診断の結果向上、といった数値として現れる効果を実感している人もいる

⇒自転車の健康への良い影響について積極的に周知していくことが重要

自転車通勤

- ◆ 自転車通勤を行っていない人の6割が行いたいと思っている
- ◆ 自転車通勤の課題としては、職場の承認を得られないといった制度的問題の他にも、駐輪場や盗難の問題、汗が不快といった問題など、様々な要素がある
- ◆ 自転車通勤を行っている人は65%が30分超～2時間、片道約5～15km自転車に乗っており、この時間・距離が自転車通勤を行いやすい範囲だと考えられる

⇒自転車通勤には様々な課題があるが、
課題を踏まえて市としての効果的なアプローチを検討することが必要

サイクルスポーツへの興味を高める取組推進 サイクルスポーツ環境の充実

- 令和2年2月「トレイルアドベンチャー・よこはま」がオープン
- 市が管理する公園内に、マウンテンバイクを楽しめる多目的なコースを開設
- **公園内の樹林地を自転車等で利用できる本格的な有料施設としては本市初**

名称：

トレイルアドベンチャー・よこはま
(Park-PFIを活用して公民連携により設置した施設。
横浜市環境創造局所管)

設置場所：

里山ガーデン
(旭区上白根町、よこはま動物園ズーラシア隣接)

施設内容：

緩やかな傾斜でのアップダウンやコーナーなどを配置。
MTB (マウンテンバイク)、E-MTB (電動アシスト機能つき
MTB)、E-BIKE (電動モーターバイク) など、様々なアクテ
ィビティを初心者から上級者、子どもから大人まで気軽に楽
しめる、森の中の多目的なコース。



- 横浜都心部コミュニティサイクル事業「ベイバイク」のサイクルポート拡充、利用促進

- ・ 今後の取組として、利用者のニーズを踏まえた上で、ポートの拡充及びエリアの拡大を図っていく。

利用状況	2020年3月末	2019年3月末
ポート数	95か所	81か所
自転車	1,000台	773台
会員登録者数	115,389人	90,989人
1日あたりの利用回数	2,058回(平均)	1,459回(平均)



2

指標の設定及び達成状況 について

自転車活用推進計画の指標					実現に関連するテーマ			
指標名	2021年度末時点	2019年度(実績)	計画策定時点	設定の考え方	まもる	はしる	とめる	いかす
自転車関係交通事故件数	1,800件以下	1,665件 (2019年実績)	2,093件 (2017年度実績)		○	○		
自転車通行ルールの認知度	75% ※新規設定	68.9%	2019年度に実施予定の市民向けアンケート調査結果により指標を設定	2028年度の目標を90%と設定。 2019年調査時の意識が低い層の認知度を2年間で10%程度上げ、2021年時点で75%を目指す	○			
自転車保険の加入率	85% ※新規設定	44.6%	2019年度に実施予定の市民向けアンケート調査結果により指標を設定	2028年度の目標を100%と設定。 当初2年間で取り組みを強化	○			
自転車通行空間の整備延長	43km	46km	33km (2017年度実績)			○		

計画推進の指標達成状況と新たな設定について

自転車活用推進計画の指標					実現に関連するテーマ			
指標名	2021年度末時点	2019年度(実績)	計画策定時点	設定の考え方	まもる	はしる	とめる	いかす
放置自転車台数	6,600台未満	6,111台	8,297台 (2017年度実績)				○	
附置義務条例による集客施設の駐輪場収容台数の増加	7,200台	1,118台	—				○	
自転車関連イベント(「いかす」施策)の開催件数(市が関係するもの)	10件 (2019年度～2021年度累計)	4件	—					○
自転車利用環境の満足度	2019年より 向上 ※新規設定	22.0% (まもる)	2019年度に実施予定の市民向けアンケート調査結果により指標を設定	2028年度の目標を全体で50%に設定	○	○	○	○
		22.1% (はしる)						
		36.0% (とめる)						
		26.0% (いかす)						
		26.5% (全体)						

自転車保険加入状況や利用環境満足度に関する意識調査の実施

■対象者：無作為抽出により市民1万人に送付

■実施期間：令和元年7月～8月

■主な設問内容：

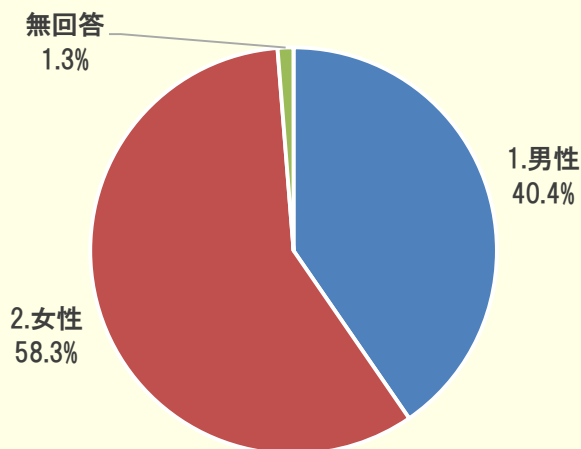
自転車を利用するとき気を付けていること
市内で自転車を利用するときの道路の安全・快適性
市内で自転車を利用するときの駐輪場の使いやすさ
自転車保険への加入について
自転車の交通ルールの順守について
健康づくりやまちづくり、観光への自転車活用について

■回答者数：2,528人

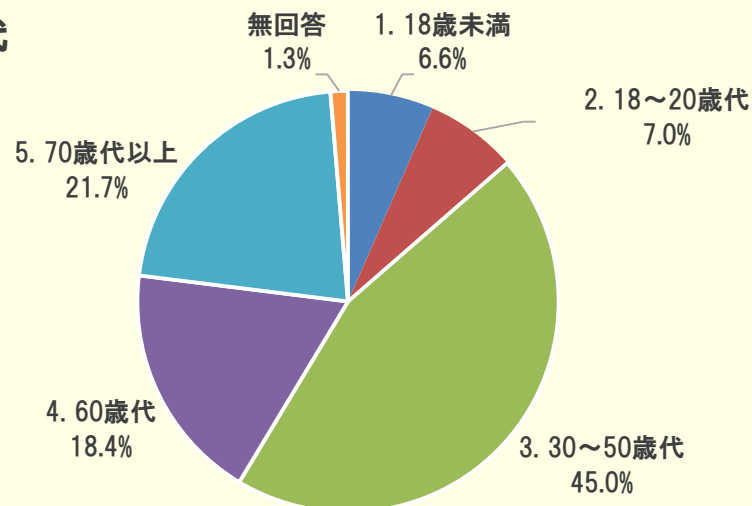
* 今後3年間、継続して同様の意識調査を行い、達成状況を確認。

■ 回答者の属性

性別



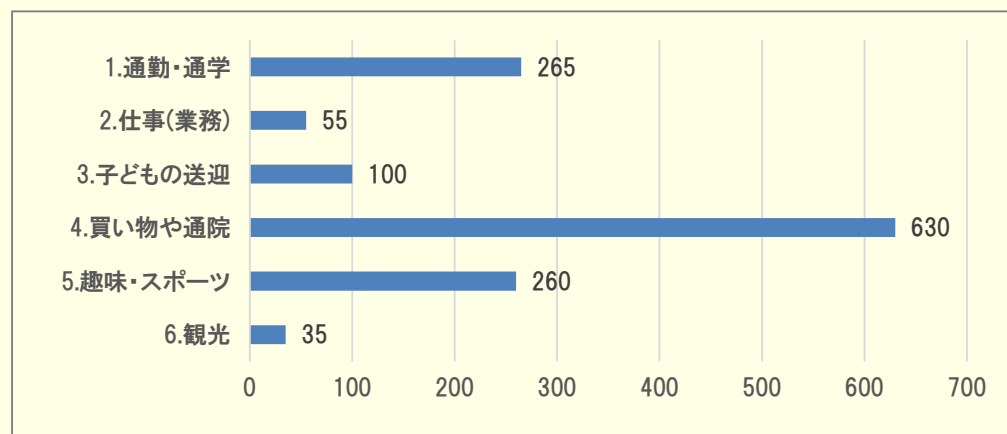
年代



■ 自転車の利用場面に関して

問：あなたが自転車を利用するのはどのような場面ですか。

※自転車利用者だけに質問
(N=873、複数回答可)



■ 自転車通行ルールの認知度に関して

問：自転車を利用する時、あなたが気を付けていることを教えてください。

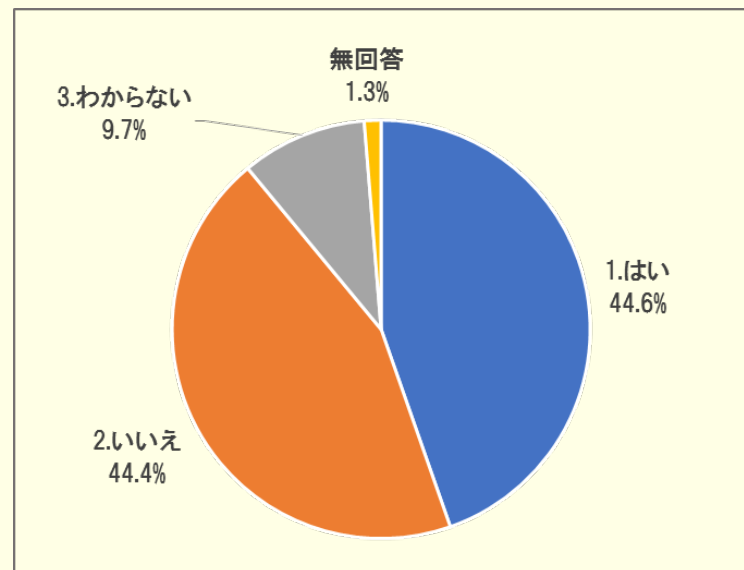
※自転車利用者のみ質問
(N=880、複数回答可)

	件数	%
1.自転車は進行方向に向かって車道の左側を走る	628	71.4%
2.一時停止の標識がある場所では必ず停止し、左右の確認をする	507	57.6%
3.13歳未満の子どもにはヘルメットを着用させている	130	14.8%
4.車道を走るようにしているが、やむを得ず歩道を走る場合は、徐行をする	536	60.9%
5.暗くなったらライトを点灯している	753	85.6%
6.とくに気をつけていることはない	14	1.6%

■ 自転車保険の加入率に関して

問：あなた自身は自転車保険に加入していますか。

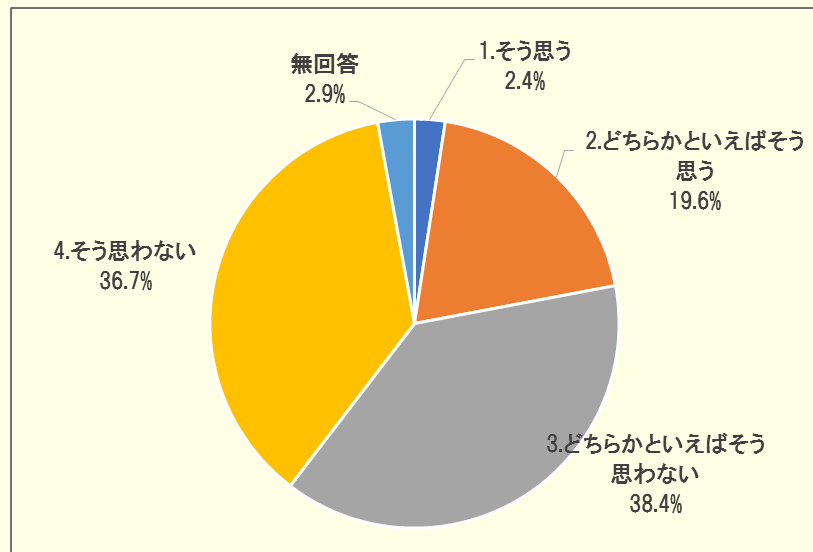
※自転車利用者のみ質問 (N=1,080)



■ 自転車利用環境の満足度（まもる）に関して

問：横浜市内は自転車の交通ルールが守られていると思いますか。

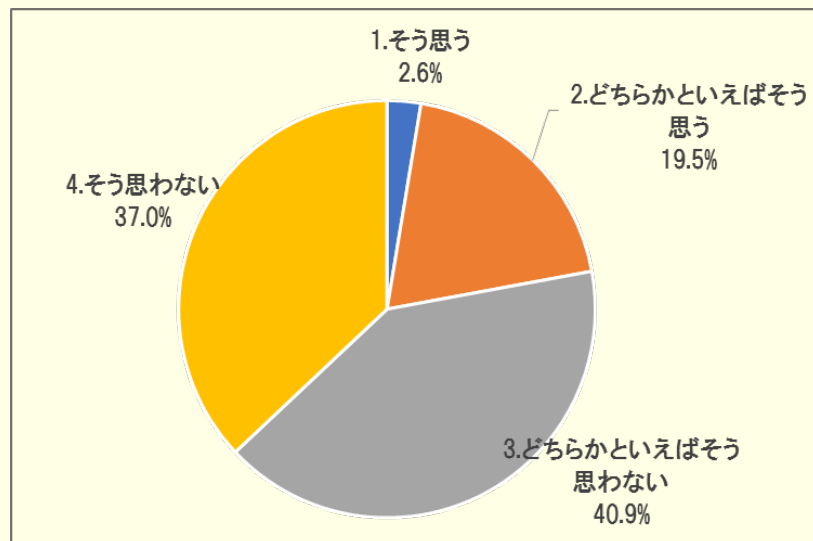
※全員に質問（N=2,528）



■ 自転車利用環境の満足度（はしる）に関して

問：横浜市内で自転車を利用するとき、道路を安全・快適に走ることができる環境があると思いますか。

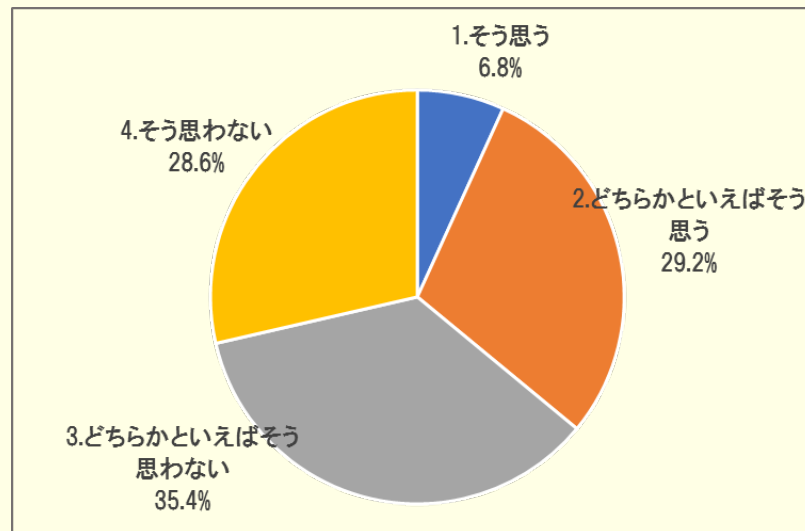
※自転車利用者だけに質問（N=878）



■ 自転車利用環境の満足度（とめる）に関して

問：横浜市内で自転車を利用するとき、
駐輪場や駐輪スペースが使いやすい
環境にあると思いますか。

※自転車利用者だけに質問 (N=867)



■ 自転車利用環境の満足度（いかす）に関して

問：横浜市は健康づくりやまちづくり・観光など
に自転車が活用されていると思いますか。

※全員に質問 (N=2,528)

